



ペテロの手紙
からの教訓 (I)

目次

| | |
|-----------------------|----|
| 1. イエス・キリストの使徒 | 5 |
| 2. 旅人 | 10 |
| 3. 神の子らの従順 | 15 |
| 4. 神の御言 | 20 |
| 5. 生ける石 | 26 |
| 6. 世に対して証をする | 31 |
| 7. 夫や妻への訴え | 36 |
| 8. クリスチャンの態度 | 41 |
| 9. すべての人が必要としているバプテスマ | 47 |
| 10. 新しい命を生きる | 52 |
| 11. 熱烈な愛 | 57 |
| 12. 教会の指導者たちへの訴え | 62 |
| 13. 身を慎み、目をさましていなさい | 67 |

セブンスデーアドベンチス
ト改革運動世界総会安息
日学校部 (P.O.Box 7240
Roanoke, Virginia 24019-
0240, U.S.A.)

安息日聖書教科 Vol.99, No.4

編集&発行:
S D A改革運動日本ミッション

〒368 - 0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607 - 1

TEL : (0494) 22-0465

URL :
<http://www.4angels.jp>

E-mail:
sdarm.shomaru@gmail.
com

イラスト : GoodSalt on the
front cover; Adobe Stock on
pp. 25, 72; Map Resources
on pp. 46, 72.

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

まえがき

わたしたちのうちペテロ、あの率直な弟子と同じ状況を経験したことがない人はいるでしょうか。彼の人性はたしかにわたしたちがみな、少なくとも何らかの方法で述べるができるものです。彼の熱烈な熱心さや自分の主人のご命令にはすぐに従おうとする自発性は、わたしたちを鼓舞します。わたしたちはたしかに彼のときたまの当惑するような過ちに共鳴したり、失敗の後に再び立ち上がった方法によって励まされます。ペテロが神の導きを通して経験した成長の過程は、彼に高尚な使徒職、及び聖書の聖なる書物の中に置かれるほど価値のある二つの書簡にまで導きました。

こうした理由から、今後3か月間、世界中の安息日学校の生徒がペテロの手紙(I)からの教訓に焦点を当てることになります。この靈感を受けた神の人からの豊かな宝石のような真理は、試練の時に主とともに歩む私たちの歩みを強めるよう意図されています。

ペテロの手紙の重要な点の一つは、神の民は、罪の暗い世界に対する輝かしい証人となるようキリストの体を築き上げる人生を歩むべきであるということです。

「リバイバルと改革が、聖霊の働きの下で起こらなければならない。リバイバルと改革は二つの異なるものである。リバイバルは霊的命が新たにされること、思いと心の力をよみがえらせること、霊的な死からの復活である。改革は、再組織を意味し、考え、理論、習慣や実践における変化である。改革は御霊のリバイバルとつながっていないかぎり、良い義の実を結ぶことはない。リバイバルと改革はそれぞれに定められた働きをすべきであり、この働きをするときにそれらが混じらなければならない。」(セレクット・メッセージ 1巻 128)

興味深い証が、わたしたち一人ひとりに、わたしたちがペテロの第一の手紙を研究するとき、みな自分の霊的な成長のために学ぶことができるという強い訴えを提示します。「わが兄弟よ、もしあなたが望むならば、あなたは神にあつて強い人になることができる。あなたは神の奉仕へと聖別されるためにあなたが保持するようまかされた能力というタラントがある。しかし、あなたがすべてをキリストに明け渡さないなら、あなたの能力はあなたにも他人にも両者にとって危険であることがわかるであろう。彼らを導いて真理から離れさせ、キリストから離れさせるのである。

___にいる教会員たちは、彼らのためになされなければならないことが多くある。彼らはキリストに対する熱心さを持たなければならない。すべての面においてもっと謙そんに、もっと忍耐強く、もっと親切で、もっと教えを受けやすく、もっとキリストのようにならなければならない。彼らの品性において世に恵みの聖化する力をあらわすべきである。神はあなたがたが教えや模範によって、この重要不可欠な働きに対して道を閉ざすことを禁じておられる。あなたがたはイエスと共に働いているだろうか。あなたはあなたを買われた主に対して真実であろうか。あなたは重要性の低いすべてのものを背後に捨てるであろうか。あなたはより大きな信仰へ、より大きな愛へとバプテスマを受けなければならない。あなたは永遠の重要性を持つ事からのためにより大きな敬神の念を必要としている。」(教会への証 5巻 570, 571)

わたしたちが研究するときに、主がわたしたち助けて下さり、このことを心にとめていることができますように。

世界総会安息日学校支部

第一安息日献金

パキスタン、ナラン・マンディ教会のために

セブンスデーアドベンチスト改革運動のメッセージは、20 世紀後半にパキスタンに入りました。パキスタンの総人口は 2 億 4,150 万人で、国民の宗教はイスラム教 (96.47%)、次いでヒンドゥー教 (2.14%)、キリスト教 (1.27%)、その他の宗教 (0.11%) となっており、我が国はアフガニスタン、中国、インド、アラビア海、イランに囲まれています。農業は国内総生産の約 20.9% を占めています。パキスタンの経済は低所得発展途上国の経済に分類されています。この国は国連開発計画と世界銀行によって設定されている開発指標のほとんどで低位にランク付けされています。



ナラン・マンディ市は、パンジャブ州のムリドケ地区にあります。この地区全体の人口は 50 万人を超えています。ここ数十年、私たちはパキスタンの兄弟たちの間で教会活動を発展させるために、集会やセミナー、その他の活動を行ってきました。直面する困難の中でも、私たちはキリストへの信仰をもち続けることができます。今では私たちの活動は全国に広がりました。私たちは宣教活動、健康教育、指導力育成、教育センターの設立、パキスタンの古い教会の修復など、主の働きのみならずさまざまな側面の発展に向けて前進しています。

「主はこの時代にご自分の民に語って次のように言われる『これらの諸都市に入るところを見つけ、単純さと信仰のうちに真理を宣布しなさい。聖霊があなたがたの努力を通して働き、心に印象を残すであろう。あなたがたのメッセージに違う教理を持ち込んではいけません。そうではなくキリストの福音の単純な言葉、老若が理解できる言葉を語りなさい。学識のある者と同様に無学な者も第三天使のメッセージの真理を把握しなければならない。そしてそれらは単純さのうちに教えられなければならない。もしあなたがたが民に受け入れられるように近づきたいなら、神のみ前に心を低くし、このお方の方法を学びなさい。』」(医事伝道 299)

私たちが提供するものはすべて、快活に差し出されるべきです。神のご要求は歓迎され、神のみ事業はわたしたちに託された資金の一部を正当に受け取る権利があるとみなされるでしょう。パキスタン伝道部の兄弟姉妹は、世界のこの困難な地域における主の目的への寛大な寄付に対して、私たちの親愛なる兄弟姉妹、若者の皆さんに感謝しています。……「神は喜んで施す人を愛して下さるのである」(コリント第二 9:7)。

パキスタン教会から皆さんの兄弟姉妹より

イエス・キリストの使徒

暗唱聖句:「シモン、シモン、見よ、サタンはあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って許された。しかし、わたしはあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈った。それで、あなたが立ち直ったときには、兄弟たちを力づけてやりなさい。」(ルカ 22:31, 32)

「ペテロは自己放棄へと導かれて、完全に神の力により頼むようになったときはじめて、大牧者のもとで働く羊飼いとしての召しを受けた。……彼は自分の弱さを知るまで、キリストにより頼むことの必要を悟ることができなかった。」(患難から栄光へ下巻 212, 213)

推奨文献: 各時代の希望上巻 303 - 311

日曜日

3月31日

1. キリストの召しに応える

a. シモン・ペテロのイエスとの最初の出会いについて述べなさい(ヨハネ 1:40-42)。

「アンデレは自分の心を満たしたよろこびをわけ与えようつとめた。彼は、兄弟のシモンをさがしに行き、『わたしたちはメシヤ(訳せば、キリスト)にいま出会った。』と叫んだ(ヨハネ 1:41)。シモンは次の招きを待たなかった。彼もまたバプテスマのヨハネの説教をきいていたので、救い主のもとへ急いだ。キリストの目はシモンにとまり、彼の性格と経歴とを読みとられた。彼の感情的な性質、彼の同情と愛の心、彼の野心と自信、彼がつまずき、悔い改め、働き、そして殉教の死をとげる経歴—救い主はそうしたすべてを読みとられた—。」(各時代の希望上巻 158)

b. イエスはどのような状況でペテロとその兄弟をご自分の弟子になるよう正式に召されましたか(マタイ 4:18-20)。

「賃金が約束されていないにもかかわらず、彼らの迅速かつ質問しない従順は注目に値する。しかしキリストのみ言葉は推進力を伴った召しであった。キリストはこの謙遜な漁師たちをご自分に結びつけて、人をサタンの働きから解放し、神の奉仕に就かせる器とされたのであった。」(福音伝言者 24)

2. 誠実で熱心な弟子

- a. ペテロは弟子として働き始めた当初、彼は自分自身をどのように見ていましたか(ルカ 5:8)。

「キリストの時代に、民の宗教指導者たちは靈的宝に富んでいると自認していた。『神よ、わたしはほかの人たちのよう……でないことを感謝します』というパリサイ人の祈りは、その階級の気持ち、またさらに国全体の気持ちを非常によく表現していた(ルカ 18:11)。しかし、イエスをとりまく群衆の中には、自分の靈的な貧しさを認めた人々も何人かあった。魚が奇跡的にとれて、キリストの神聖な力があらわれた時、ペテロは救い主の足下にひれ伏し、『主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者です』と叫んだ(ルカ 5:8)。そのように山上に集まった群衆の中にもキリストの純潔を目の前にして自分が、『みじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸な者』であることを感じた魂があった(黙示録 3:17)。(祝福の山 8)

- b. ペテロはイエスがどなたであるかについて何を信じましたか(マタイ 16:13-16)。

「ペテロは、はじめからイエスをメシヤと信じていた。バプテスマのヨハネの説教を聞いて罪をさとった他の多くの者たちは、ヨハネが投獄されて死刑に処せられると、ヨハネの使命について疑いをいだきはじめた。……イエスがダビデの位につかれることを熱烈に期待していた弟子たちの多くも、イエスにその気持ちがないことをみとめると、イエスから離れた。だがペテロとその仲間たちは忠誠を変えなかった。救い主にほんとうに従っている者たちの信仰は、きのうは称賛し、きょうは非難するといったような人々の移り変わる態度によって、破壊されることはなかった。ペテロは、『あなたこそ、生ける神の子キリストです』と断言した。彼は、主が王として冠をつけられる栄誉を持たないで、屈辱のうちにあられるキリストを受け入れた。…

イエスはペテロに答えて言われた、『バルヨナ・シモン、あなたはさいわいである。あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である』(マタイ 16:17)。

ペテロが告白した真理は、信者の信仰の土台である。これこそキリストご自身が永遠のいのちであると宣言されたものである。だがこの知識を持っていることは、自己称賛の理由にはならなかった。それがペテロに示されたのは、彼に知恵や徳があったからではなかった。人間はひとりで神についての知識に到達することはできない。……『子たる身分を授ける霊』のみが、神について『目がまだ見ず、耳がまだ聞かず、人の心に思い浮かびもしなかった』深い事がらをわれわれに示すことができるのである。……ペテロがキリストの栄光をみとめたことは、彼が『神に教えられ』た証拠である。(各時代の希望中巻 177, 178, 180)

3. 熱心に答えを求める

- a. ペテロの探求心を示し、同じ態度を身に着けることによってわたしたちがどのように成長できるかを明らかにする聖書の例は何ですか (マタイ 15:15; 18:21; 19:27; マルコ 13:3, 4)。

「聖書研究ほど、すべての思想、感情、大志を高尚にする研究は他にない。…ここでわたしたちはどのように現在の生涯を向上させ、将来の命を確保するかを学ぶのである。他の書物は思いの疑問と心の渴望を満足させることができない。神のみ言葉の知識を得ることによって、そしてそれに注意を払うことによって、人は無知と墮落の最も低い深みから、神の子になるところまで上ることができる。…

教育する力として、聖書に並ぶものはない。啓示の驚くべき真理をつかむよう生徒に要求することほど、あらゆる能力に活力を与えるものは他にない。頭脳は徐々に考えることが許されてきた主題に順応していく。もし、壮大で高尚な主題は除外して、ただありふれた事柄ばかりを考えているなら、頭脳は矮小化し、弱くなる。もし一度も難しい問題に取り組むことが要求されないなら、あるいは重要な真理を把握するために能力を精一杯働かせないならば、それはしばらくするとほとんど成長力をなくしてしまうのである。…

神のみ言葉の中には思いが最も深い思想と、最も高い大志のために主題を見出すことができる。」(教会への証 5 巻 24, 25)

「最も探求心のある人もキリストの学校で安全に学ぶことができる。そこは彼らの現在と永遠の益となることがわかるであろう。」(母親への訴え 32)

- b. 霊的な事柄への探求心は奨励されていますか (ヨハネ 5:39)、人間の健全な好奇心にはいつ限界がありますか (申命記 29:29)。

「[サタン]は、不信心な好奇心を刺激し、神の知恵や力の秘密を探ろうとする際限のないせんさく心をかきたてようと常に努力している。多くの者は、神がみこころのうちに隠されたものを探し出そうと努めて、神が、啓示された真理で、救いに欠くことのできないものを見落としている。」(人類のあけぼの上巻 41)

「わたしたちは主の威光を隠している覆いを僭越な手で持ち上げようと試みてはならない。…このお方の力を隠していること、このお方が奥義と不明という恐るべき雲のうちに覆われていることは、このお方の憐れみの証拠である。なぜなら、神のご臨在を隠している覆いを持ち上げることは、死だからである。」(レビュー・アソッド・ヘア 1885 年 4 月 7 日)

4. 少しの信仰、多くの自己信頼

- a. 信仰によって歩んだペテロの最初の記録された経験からわたしたちは何を学ぶことができますか (マタイ 14:28-31)。

「[ペテロは] 目をイエスに向かって上げ続けるべきであった。しかし彼は荒れ狂う波を見下ろし、彼の信仰は失敗した。」(教会への証 2 巻 273)

「罪人は自分の一生の仕事を、上げられた救い主をながめることにしないかぎり、そして信仰によってわがものと主張することが特権である功績を受け入れないかぎり、罪人は救われることができない。それはちょうど、ペテロがしっかりとイエスに目をとめ続けているかぎり水の上を歩くことができたのと同じである。今、サタンの断固たる目的は、イエスを見る視力を暗くし、人を見るように導こうとすることである。…長年、教会は永遠の命というわたしたちの希望が集中しているイエスをながめず、人を見て、人に期待してきた。」(牧師への証 93)

- b. ペテロはイエスと一緒にいた期間が長くなるほど、自分自身や大きな試練に耐える自分の能力をどのように過大評価しましたか (マタイ 26:33-35, 69-75)。

「高慢とうぬぼれほど神がおきらいになるものではなく、また人の魂を危険にさらすものはない。あらゆる罪の中で、これほど絶望的でどうにもならないものはない。」(キリストの実物教訓 134)

「弟子たちの経歴の中でペテロの経歴ほど、キリストの教育法をよく例示しているものはない。大胆で、けんか好きで、自信が強く、敏感で、行動的で、ふくしゅうも早いと同時に人を許すことも寛大であるといったようなペテロは、しばしば過失をくりかえし、その度にけん責を受けた。…しかし、またキリストに対する彼の真心からの忠誠と献身は、同じようにはっきりと認められ、賞賛された。救い主は正しい愛をもって、忍耐強く、このせつかな弟子を取り扱い、彼の自信を取り除き、けんそんと従順と信頼を教えようと努力された。…」

しかし、彼が学んだのは、こうした教訓の一部にすぎなかった。自信の念は根絶できなかった。

ペテロの経験は、弟子たちの全部にとって教訓となった。自己にたよる者にとっては、試練は敗北である。キリストは、放棄されていない罪の引き起こす結果を阻止なさることはできないのである。しかし、ペテロが危うく波にさらわれそうになったときに、キリストのみ手がさしのべられたように、キリストの愛は、深い海にのまれかけている魂を救うために注がれる。」(教育 90, 91)

- c. なぜ長年教会員であったとしても信仰の強さが保証とはならないのでしょうか (ローマ 11:20-22; コリント第一 10:12; 8:2)。

5. 改心した使徒

- a. なぜ神はわたしたちが自分の道を追求することが罪と恥に終わる可能性があることをご存じでありながら、常にそれをお止めにならないのでしょうか（イザヤ 48:17; ルカ 22:31, 32）。

「キリストは、ペテロがキリストを拒む前に、『あなたが立ち直ったときには、兄弟たちを力づけてやりなさい。』と、ペテロに言っておられた（ルカ 22:32）。このみことばは、この使徒がやがて、信仰に導かれるはずの人々のためになさねばならない、広範で効果的な働きのことを意味していた。ペテロ自身の罪と苦しみと悔い改めの経験が、この働きのために、彼を準備させたのであった。彼は自分の弱さを知るまで、キリストにより頼むことの必要を悟ることができなかった。……悔い改め、受け入れられた今、……彼は、囲いの外の人々を救う努力しなければならないばかりか、羊たちの牧者にならなければならないかった。」（患難から栄光へ下巻 212, 213）

- b. 改心したペテロは晩年、試練を受けている信者に宛てた手紙の中でどのような励ましを与えましたか（ペテロ第一 3:14; 4:12-14）。

「これらの手紙は、キリストの苦難と慰めを十分に受けてきた者、また、その全存在が恵みによって変えられ、永遠のいのちという確かでゆるぎない望みを持っている者によって書かれたという印象を与える。」（患難から栄光へ下巻 216）

個人的な復習問題

1. 人生のさまざまな状況の中で、イエスの呼びかける御声を聞いた時、どのようにすればペテロのように迅速にかつ熱心に答えることができるでしょうか。
2. クリスマスであることを公言してからの年月が長くなるにつれて、わたしが決して絶対に忘れてはならないことは何でしょうか。
3. 気が散りがちな現代において、永遠に救われることを真剣に考えるなら、わたしの生来の探求心をどこに向けなければならないでしょうか。
4. 人生のどのような場面で自己信頼や、自己満足に陥る危険がありますか。
5. わたしが間違いを犯したとき、その経験からどのように有益な教訓を引き出すことができるでしょうか。

「旅人」

暗唱聖句：「そのことを思って、今しばらくのあいだは、さまざまな試練で悩まねばならないかも知れないが、あなたがたは大いに喜んでいる。」(ペテロ第一 1:6)

「わたしたちはこの地上においては、旅人であり、寄留者である。神がわたしたちに抑えるようにとおおじなつた欲望を満たすために財産を費やさないようにしましょう。むしろ同胞の前で正しい模範を示そう。わたしたちの信仰を適切に表そう。・・・あなたの影響力で、神の要求の神聖さを魂に印象付けよう。」(教会への証 6巻 452)

推奨文献： 各時代の争闘上巻 1-27

日曜日

4月7日

1. 特別な信者への手紙

- a. ペテロは最初の手紙の主な宛先となった小アジアに散在するクリスチャンのことをどのように言及しましたか (ペテロ第一 1:1)。
- b. キリストに従う者たちはこの世では旅人ですが、神から彼らはどのように見られていますか (ペテロ第一 1:2; 2:9; エペソ 2:19)。

「同様に神の民—真のイスラエル—は、すべての国々にちらばっているけれども、地上においては国籍を天に持つ旅人にすぎない。」(人類のあけぼの下巻 55)

「主の家族に迎え入れられる条件は、この世から出てきて、すべての汚れた影響から離れることである。神の民はいかなる形の偶像礼拝ともかかわってはならない。彼らはより高い標準に到達する必要がある。わたしたちは世から区別されるべきである。そして神は『わたしはあなたをわたしの王族の一員、天の王の子として迎えよう』と言われる。真理を信じる者として、わたしたちは実際に罪や罪人から区別されるべきである。わたしたちの国籍は天にある。

神がわたしたちにして下さった約束の価値をもっとはっきりと認識し、神がわたしたちに与えて下さった誉をもっと深く感謝すべきである。」(クリスチャン教育の基礎 481)

2. 神の選ばれた者

- a. ペテロがわたしたちを神の「選ばれた者」と呼んだ時、それはわたしたちが一度召されたら失われることがないという意味でしょうか、比較して説明しなさい（ヨハネ 15:16, ルカ 3:8, 9; ルカ 6:13-16, ヨハネ 6:70, 71; イザヤ 41:8, 9, ローマ 11:20-23）。

「主によってユダが選ばれた時、彼は望みのない状態ではなかった。彼にはいくつかの良い特質があった。キリストと共に働き、このお方の話に耳を傾けることで、彼は自分の過ちを知る有益な機会を得た。…彼は主によって、自分の貪欲な性格をそのまま育てるか、またはそれを見て正すか、どちらかを選べる立場に置かれた。彼は貧しい人々のために集められたわずかな資金と必要な経費を扱っていた。…

このわずかなお金はユダにとって絶え間ない誘惑であった。…わたしたちの救い主はこの貪欲さのために彼を非難なさった。このことにユダの心は苦しんだが、それでも彼はわずかな金を払って主を裏切ること同意した。安息日を守る者の中にもユダがやったよりも心が真実でない者もいるであろう。」（教会への証 4 巻 41, 42）

- b. 「神の予知されたところによって」の選びはどのような主な原則によって確立されていますか（ペテロ第二 3:9; テモテ第一 2:4; エペソ 1:4, 5）。

「御父は人々の中に住む選ばれた民に愛を注がれる。これらの人々はキリストの血の代価によって贖われた者たちであり、彼らはキリストの引き寄せに応じ、神の最高の憐れみによってご自分の従順な子として救われる者には選ばれるのである。…幼な子のようにへりくだり、子供のように素直に神の言葉を受け、従う者は皆、神の選民の中に入るのである。」（サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1893 年 1 月 2 日）

- c. 選びを確かなものにし、ユダの悲しい運命を繰り返さないためにわたしたちは何をすべきでしょうか（ペテロ第二 1:10; 3:17; ヨハネ第一 3:2, 3）。

「もしわたしたちが主のおつくりになった条件に従えば、わたしたちが救われるための選びは保証される。神の戒めへの完全な服従が、わたしたちが神を愛し、罪によって固くなっていないという証拠である。」（SDA パイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 6 巻 1079）

3. 励ましの言葉

- a. わたしたちを救いのために選び、定めたすべての栄光はどなたに帰せられるべきでしょうか、それはなぜですか（ペテロ第一 1:3; 詩篇 72:18, 19）。

「この年老いた神のしもべは、彼の第一の手紙の最初に、主にさんびと感謝をささげている。『ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神。』（患難から栄光へ下巻 216）

- b. ペテロはどのような言葉で厳しい迫害に直面している兄弟たちを慰めようとしているのでしょうか（ペテロ第一 1:3（下句）、4）ヘブル 11:26 も参照

「新しくされた地で確かに資産を受け継ぐというこの望みを抱いて、初期のクリスチャンたちは、厳しい試練や苦難にあっている時でさえも、喜んでいた。『今しばらくのあいだは、さまざまな試練で悩まねばならないかも知れないが、あなたがたは大いに喜んでいる。』とペテロは書いている。」（同上 217）

- c. なぜ神は、ご自分の選民に誘惑、苦しみ、苦難が訪れることを許されるのでしょうか（ペテロ第一 1:6, 7; マタイ 5:11, 12）。

「試練や困難は神がお選びになった鍛錬の手段であって、神が定められた成功の条件である。人の心の中をごらんになる神は、人間が自分自身を知る以上に人間の性質を知っておられる。正しく指導すれば神の働きを進展させるのに用いることができる能力や感受性を持っている人々がいることを知っておられ、摂理によってこうした人をいろいろ異なる地位や各種の境遇に導かれるのであるが、それはその人自身知らなかった自己の欠陥を発見するためである。神はこうした欠陥を改める機会を与え、神の働きに適する者となる機会を与えられる。そして、きよめられたためにしばしば火のような試練が彼らを襲うことを許されるのである。

わたしたちが試練に耐えるように召されている事実は、主イエスがわたしたちの中に発達させようとお望みになっている、尊いものがあることを認められていることを示している。……神はご自分がお選びになった者が悩みの炉の中に投げ入れられるのを許し、彼らがどんな性質を持ち、神の働きのために適当かどうかをためされるのである。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 454, 455）

4. 信仰について述べる

- a. 神がわたしたちを「救いに至る」ように導くことができる唯一の方法は何ですか(ペテロ第一 1:5; ルカ 8:48)。

「魂を救うキリストへの信仰は、多くの人がそうであろうと表現しているようなものではない。『信じなさい、信じなさい、ただキリストを信じなさい、そうすればあなたは救われる。それがあなたができるすべてです。』真の信仰は救いのためにキリストを全面的に信じる一方、神の律法への完全な服従へ導く。信仰は働きによって表される。」(レビュー・アンド・ヘルト 1886年10月5日)

「わたしたちは信仰を通して、神の力によって守っていただくことができるために、心の願いが絶えず黙祷のうちに、助けを、光を、力を、知識を求めて上っていくべきである。しかし思想と祈りは、熱心で忠実な時間の活用に取り替えて代わることはできない。働きと祈りがどちらもクリスチャン品性を完全にするにあたって要求される。」(神の驚くべき恵 317)

- b. なぜ信仰には試練が必要なのですか(ペテロ第一 1:7; ヨブ 23:10; ヤコブ 1:3)。

「最終的に勝利を得る一人びとりの魂の宗教的な生活において、恐るべき混乱と試練の光景がある。しかし、聖句についての彼の知識によって、彼は神の励ましの約束を思い出すことができる。それは、彼の心に慰めをもたらし、力強いお方の力を信じる彼の信仰を強める。…信仰の試練は、金よりも尊い。すべての人は、これがキリストの学校の訓練の一部であり、地上の性質というかすを取り除いて清め、精錬するために不可欠であることを学ぶべきである。」(同上 81)

- c. 使徒ペテロは信仰の本質をどのように述べていますか(ペテロ第一 1:8, 9)。これをパウロの信仰の定義と比較しなさい(ヘブル 11:1)。

「たとえ谷間を歩くときでも、山頂にいるときと同じように、キリストがわたしたちとともにいてくださることを決して忘れないようにしましょう。その声はわたしたちに言った『あなたの重荷を主イエス・キリストという重荷を負って下さるお方に担っていただくのではないか。あなたは十字架の日の光の当たる側に住まないであろうか。』」(思い、品性、個性 2巻 811)

5. 救いの神秘

- a. キリストの受肉と死の後、「恵みによる救い」がなぜ理解しやすくなったのでしょうか（ペテロ第一 1:10-12; ルカ 10:24; ヨハネ第一 1:1-3）。

「聖霊の特別な光に浴した預言者たちでさえ、自分たちにゆだねられた啓示の意味を、完全に理解してはいなかった。……

預言者たちは、自分たちに啓示されたことを十分に理解できなかつたけれども、神が彼らにあらわすことをよしとされた光はみな把握しようと熱心に求めた。……こうした預言が神のしもべたちに与えられたのは、新約時代のキリスト者のためであるとは、神の民にとって、なんという教訓であろう。……彼らの聖なる熱心さと、後世の恵まれた人々がこの天の贈り物を扱う無気力な冷淡さとを、比較してみよう。これは、預言は理解できないものであると言って満足しているような、安楽を愛し世俗を愛する無関心さに対しての、なんという譴責であろうか。」（各時代の大争闘 下巻 36, 37）

- b. なぜ贖いの計画は天使たちにでさえも神秘なのでしょうか（ペテロ第一 1:12（下句）; コリント第一 4:9）。

「イエスはわれわれのうちに住むためにおいでになることによって、人類にも天使にも神を示されるのであった。……われわれの小さな世界は、宇宙の教科書である。神のすばらしい恵みの目的、すなわちあがないの奥儀は、『御使いたちも、うかがい見たいと願っている』テーマであって、それは永遠にわたって彼らの研究となるであろう（ペテロ第一 1:12）。あがなわれた者も、墮落しなかつた者も、キリストの十字架に彼らの科学と彼らの歌をみいだすであろう。」（各時代の希望上巻 1, 2）

個人的な復習問題

1. わたしがこの世の旅人であり、寄留者であり、ここを家であると感じてはならない者であることを何が思い出させますか。
2. どのように自分の選びと救いを確立することができるのでしょうか。
3. 試練や誘惑に勇敢に耐えるために、何がより良い備えになるのでしょうか。
4. 何がわたしの信仰を弱める、あるいは強める傾向にあるのでしょうか。
5. 贖罪の計画をより深く学ぶためにどのように時間を使うことができますか。

神の子らの従順

暗唱聖句:「あなたがたは、真理に従うことによって、たましいをきよめ、偽りのない兄弟愛をいただくに至ったのであるから、互いに心から熱く愛し合いなさい。」(ペテロの第一の手紙 1:22)

「信仰によってキリストをしっかりとつかむ時、わたしたちの働きは始まったばかりである。人は誰でも堕落した罪深い習慣を持っており、それは激しい戦いによって克服されなければならない。すべての魂は信仰の戦いを戦うことを求められている。」(レクテッド・メッセージ 2 巻 20)

推奨文献: (キリストへの道 53 - 61)

日曜日

4月14日

1. 慎重に思想を選ぶ

- a. 神の御言葉に従って、真の従順はどこから始まりますか (ペテロ第一 1:13, 14; ローマ 12:2)。

「真の改革はすべて魂の清めから始まる。変化が生活に現れるのは、再生の洗いと聖霊の力を通して思いが一新されることによる。

キリストを眺めることによってわたしたちは変えられる。もし思いが絶えずこの世の事柄を考えているなら、この世の事柄がすべてを奪い、品性に影響を及ぼして神の栄光は見失われ、忘れられる。天の事柄に精通するために、自分の手に届く範囲にある機会はおおざりにされ、霊的生活は死んでしまう。」(神の息子むすめたち 105)

- b. 人間の思想や動機 of 自然な流れはどこに走りますか (創世記 6:5; エレミヤ 17:9)。
- c. 自分の思想や動機が清くないことに気づいたなら、わたしたちはどうすればよいでしょうか (使徒行伝 8:22)。

2. 慎み深い思想 (酔っていない考え)

- a. 実際的な意味において、「心の腰に帯を締め」るにはどのようにしたらよいでしょうか (創世記 4:7)。

「サタン」の策略のとりこにならないようにしようと思う者は、魂の通路をよく見張っていないと見張っていない。思いを不純にするようなものを読んだり、見たり、聞いたりしないようにしなければならない。魂の敵がほのめかすような問題に、手当たり次第にとびついたりしないよう、心を引きしめていなければならない。心は忠実に見張られていなければならない。でないと、外部の悪が内部の悪を目覚めさせて、魂を暗黒の中にさまよわせるであろう。『心の腰に帯を締め、身を慎み』とペテロが記している。(患難から栄光へ下巻 217, 218)

- b. 心の思想を支配することが非常に重要なのはなぜでしょうか (箴言 23:7 (上句); 24:9 (上句))。

「思考は神の意志に従わせ、感情は理性と宗教の支配下に置かなければならない。わたしたちの想像力は、抑制や規律もなく何の努力もせずに暴走させ、思い通りに行動することを許されるようには与えられていない。考えが間違っていれば、感情も間違ったものになり、そして考えと感情が組み合わされて道徳的品性が形作られるのである。クリスチャンとして自分の考えや感情を抑制する必要がないと判断するとき、わたしたちは悪天使の影響下に置かれ、その存在と支配を招き入れることになる。もしわたしたちが自分の印象に屈してしまい、疑惑、疑い、不平の水路に思考を走らせるなら、わたしたちは不幸になり、人生は失敗に終わるだろう。」(レビュー・アンド・ヘルト 1885 年 4 月 21 日)

- c. 使徒ペテロは、わたしたちに慎み深さを求め、恵みを「最後まで望む」よう懇願しているのでしょか (ペテロ第一 1:13; 同 5:8 とも比較しなさい)。

「忠実にあなたの思想を守りなさい。あなたの心への進入通路を一つ一つ一つも防備していなさい。あなたはサタンの接近に対してかんぬきをかけなければならない。他をなおざりにしながら、ある一点だけをよく見張っていても役に立たない。……わたしたちの前には直面しなければならない危険がある。そしてわたしたちの安全はただ神のうちにある。」(この日を神と共に 174)

3. かつての情欲から逃れ、聖なる者となる

- a. 聖なる者となるためにわたしたちは人生のどのような局面においてきわめて慎重深くいなければならないのでしょうか（ペテロ第一 1:14, 15; 4:2, 3）。

「また、一時罪を心にいだいても、あとで、容易にそれを捨てることができるなどとだれも考えてはならない。そうはいかないのである。心にいだくすべての罪は、性格を弱め、習慣を強める。肉体的、知的、道徳的墮落がその結果となってあらわれる。人は犯した悪を悔い、正しい道を歩もうとすることであろうが、ひとたび、悪となれ親しんだことは、善と悪との識別を困難にする。形づくられた悪習慣によって、サタンは幾度も幾度も攻撃してくるのである。」（キリストの実物教訓 258）

- b. わたしたちは常に聖なる者であることを思い出させられますが（ペテロ第一 1:15, 16）、それほどこかわたしたち自身の努力によって達成できるかのように聞こえるかもしれませんが、実際には、わたしたちはどのような方法によって聖なる者となることができるのでしょうか（レビ 20:7, 8; ペリピ 2:13; テス 3:5）。

「わたしたち自身には何の功績もないのに、神の大いなるいつくしみと愛によって、わたしたちはあたかも自分の功績であるかのように報われる。できる限りの善をしたとしても、わたしたちは依然としてふつつかなしもべに過ぎないのである。わたしたちが成し遂げたことは、キリストの恵みによってのみ成し遂げられたことであり、わたしたちの功績によって神から報いを受けることはないのである。」（ビュー・アンド・ワルト 1893年6月27日）

- c. 慎重深くいるように訴えた後、使徒はなぜ来たるべき裁きについてわたしたちに思い出させるのでしょうか（ペテロ第一 1:17; コロサイ 3:5, 6）。

「すべての人の行為は、神の前で調査され、忠実であったか不忠実であったかが記録されている。天の書物の中の各自の名の向かい側には、恐るべき正確さで、すべての悪い言葉、利己的な行為、義務の怠慢、隠れた罪、巧妙な偽善行為などが記入されている。天からの警告や譴責をなおざりにしたこと、時間を浪費し、機会を活用しなかったこと、善きにつけ悪しきにつけ、及ぼした感化とその広範囲にわたる結果などがみな、記録天使によって記録されている。」（各時代の犬争闘下巻 213）

4. キリストによって贖われた

- a. ペテロは、かつての欲望に打ち勝つ努力をすることが、その価値があるからだけではなく、わたしたちの義務であることの正当な理由として、何を挙げていますか（ペテロ第一 1:4, 18, 19; コリント第一 6:18-20）。

「すべての人類は、この無限の代価を払って買われたのである。神は、この世界に天の全資産を傾けること、すなわち、キリストにあって、全天をわたしたちに与えることによって、すべての人の意思、愛情、知能、魂を買い取られたのである。信者であるとないとを問わず、すべての人は神の所有である。すべての者は、神のために奉仕するように召しを受けているのであって、それに対する彼らの態度いかんによって、大いなる審判の日に決算をしなければならないのである。」（キリストの実物教訓 300）

- b. いつ贖いの計画は設立されましたか（テモテ第二 1:8, 9）。

「神は将来の出来事を、世界の創造以前でさえ、ご存知であった。このお方はご自分のご目的を状況に合わせることをなさらず、事態が発展し、なるようにまかせた。このお方は物ごとがしかるべき状態になるように働かれなかったが、そのような状態が存在するようになることをご存知であった。天の高い知的存在者の何ものか背信のときに実行されるべき計画—これは秘密、代々にわたって隠されてきた奥義であった。そして神が墮落した人類のためになされた働きそのものをなすという永遠の目的のうちに、捧げ物が備えられた。」（サイズ・オブ・ザ・タイムズ 1897年3月25日）

- c. 神への信仰は実際どこから来るのでしょうか（ローマ 10:17; ペテロ第一 1:21）。

「だれも信仰を創造することはできない。人の心に働きかけ、啓発される御霊は神を信じる信仰を創造される。聖書には、信仰は救いをもたらし、隠された宝を求めて真理を探究する人々の心を啓発するように力強く働く、神の賜物であると述べられている。神の御霊は人の心に真理を印象付け、神だけが真理の力によって魂を清めることができるゆえに、福音は救いに至らせる神の力と呼ばれている。」（SDA パイブル・コメンタリ [E・G・ホワイト・コメント] 7巻 940）

5. 従順の冠

- a. かつての情欲との戦いを信者に訴えた後、使徒は従順の究極の形としてどのような目標を掲げていますか（ペテロ第一 1:22）。

『あなたがたは、真理に従うことによって、たましいをきよめ、偽りのない兄弟愛をいだくに至ったのであるから、互いに心から熱く愛し合いなさい』と、ペテロは続けた。神のみことば、すなわち真理は、主がみ霊と力をあらわされる通路である。みことばに従うことによって、要求されている実、すなわち『偽りのない兄弟愛』という実を結ぶ。この愛は天から生まれ、高尚な動機や無私の行動へと至る。（患難から栄光へ下巻 219）

『あなたがたは、真理に従うことによって、たましいをきよめ、偽りのない兄弟愛をいだくに至ったのであるから』…それゆえ、この仕事に携わるすべての人、文書伝道者、事務作業をする人でも神の言葉の最も神聖で高い原則を忠実に守り、実践することがいかに重要であることであろう。（文書伝道者 297）

「わたしたちは自分の心の中に愛を抱く必要がある。わたしたちはすぐに自分の兄弟たちの悪を考えるようであってはならない。わたしたちは彼らが何をするか、または彼らがなにを言うかについて解釈することを最小限にすべきである。わたしたちは聖書的クリスチャンにならなければならない。〔ペテロ第一 1:22 引用〕…

わたしたちは自分の思いと感情、また自分の気質、目的、言葉、また行いの性質を調べなければならない。…わたしたちが自分の心を神のみ言葉の光のうちに吟味しながら勤勉に調べないかぎり、自己愛が自分自身について思うべき見解よりはるかにすぐれた見解を持つようにとわたしたちを駆り立てるのである。」（この日を神と共に 83）

「もし、私たち自身の経験に何か欠けているところがなければ、同胞をこれほど疑うことはないだろう。良心が自分を非難している人こそ、いとも簡単に他人に裁きを下すのである。だれでも自分自身を恐れおのこのう。…『あなたがたは、真理に従うことによって、たましいをきよめ、偽りのない兄弟愛をいだくに至ったのであるから。』」（ビュ・アンド・ハラト 1901 年 10 月 29 日）

個人的な復習問題

1. 罪深い考えや不純な思いが頭に浮かんだら、どのようにすればよいでしょうか。
2. 自分の動機の本質についてどのくらいの頻度で自分の心を探るべきでしょうか。
3. どうすれば、自分の人生により深い純粋さを養うことができますか。
4. イエスがわたしのために支払ってくださった代価に対するわたしの感謝の念を、より一層深めることができるものは何でしょうか。
5. わたしの兄弟姉妹に対する愛はどのぐらい本物だろうか。

神の御言

暗唱聖句：「今生まれたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。それによってお育て、救いに入るようになるためである。」（ペテロ第一 2:2）

「神のことばは種である。どの種の中にも発芽力がある。種の中に植物の命が含まれている。そのように神のことばには命がある。」（キリストの実物教訓 14）

推奨文献： 青年への使命 185-187

日曜日

4月21日

1. 必要な要件

- a. イエスは聴衆に救いのためにどのような必須な条件を提示なさいましたか（ヨハネ 3:5-7; マタイ 18:1-3）。
- b. ペテロはわたしたちが改心する（新しく生まれる）ための手段として何を指し示しましたか（ペテロ第一 1:23）。

「心が変化して神の子となることを、聖書では生れると言っている。…

真理が生活の中の不動の原則になるとき、魂は『朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、神の変ることのない生ける御言によ』って『新たに生れ』る。この新生は、キリストを神のことばとして受け入れた結果である。聖霊によって神の真理が心に刻まれると、新しい思いが喚起され、これまで眠っていた力が呼びさまされて神と協力する。……キリストは、真理をこの世にあらわされる方であった。キリストによって、朽ちない種— 神のみことば— が人々の心にまかれた。

みことばは、生れながらの世俗的な性質を減らし、イエス・キリストのうちにある新しいいのちを与える。」（信仰によってわたしは生きる 19）

2. 永遠 対 一時的かつ朽ちるもの

- a. 人の命のはかなさを語った時、ペテロはどのような預言的な言葉を引用しましたか (ペテロ第一 1:24; イザヤ 40:6-8)。
- b. 聖書全体を通して、人の命は何と比較されていますか、それはなぜですか (詩篇 103:15, 16; ヤコブ 4:14)。

「わたしたちには時間の猶予がない。恵みの期間がいつ終わるかわからない。どんなに長く見積っても、この世の生涯は短く、いつ死の矢が心臓をつらぬくかわからない。……

わたしたちは準備ができていだろうか。天の支配者、律法をお与えになる方である神と、神がご自分の代表としてこの世につかわされたイエス・キリストを、わたしたちはよく知っているだろうか。自分の生涯の働きが終ったとき、模範であるキリストのように、わたしたちもこう言えるだろうか。『わたしは、わたしにさせるためにお授けになったわざをなし遂げて、地上であなたの栄光をあらわしました。……わたしは……み名をあらわしました。』(ヨハネ 17:4 - 6)。(ミズリー・オブ・ヒーリング 436, 437)

- c. 人の命が草や霧のようなものであるのとは対照的に、神のように永遠なものとは何でしょうか (ペテロ第一 1:25; 詩篇 119:89)。

「わたしがあなたがたに語ったことばを受け入れて、それらを品性と生活の基礎とする者は、これらの、家を岩の上に建てた人々のようであるとイエスは言われた。それより幾世紀も以前に、預言者イザヤは、『われわれの神の言葉はとこしえに変わることはない』と書いたのであった (イザヤ 40:8)。またペテロは、山上の垂訓がなされたずっとあとで、イザヤのこのことばを引用して、『これが、あなたがたに宣べ伝えられた御言葉である』とつけ加えている (ペテロ第一 1:25)。神のみことばは、この世界の中で唯一ゆるがないものである。これが確かな基である。『天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は滅びることがない。』とイエスは言われた(マタイ 24:35)。……

みことばを受け入れることによって、わたしたちはキリストを受け入れるのである。……このようにキリストのみことばを受け入れる者のみがキリストの上に建てているのである。……神の啓示であり、ことばであるキリスト、そして、彼のあらわされた品性、その律法、その愛、その生涯こそわたしたちが永遠の品性を築きうる唯一の土台である。

わたしたちはキリストのみことばに従うことによってキリストの上に建てるのである。……聖潔は……神にすべてをささげる結果である。」(祝福の山 185, 186)

3. つまずきの石を取り除く

- a. イエスのうちにあるがままの神の御言葉をそのまま受け取ることを妨げるつまずきの原因をいくつか挙げなさい (ペテロ第一 2:1, 2)。

「キリストの言葉をあなたの心いっぱいを受け、その言葉を実行する者となりなさい。キリストが弟子たちの間に存在するようにと祈られた一致を損なうような感情を抱いては、キリストの愛と臨在がわたしたちにもたらす祝福を受け取ることはできない。」(ビュー・アソド・ハラト 1893年7月25日)

「まず対処しなければならないのは自己である。心を厳密に批評しなさい。何が神の御霊が自由に接触するのを妨げているかを調べるために探りなさい。」(わたしたちの高い召し7)

「鋭く話したり、またいらだってしかなかったりしてはならない。なぜなら、神の御使たちがすべての部屋を歩きかっているからである。…小さな失敗をするかもしれないが、非難の言葉が復讐の感情を呼び覚まし、そして神が辱められるのである。……思いやりに欠け、あるいは無分別に語られる言葉は何でも、その場で取り消されるべきである。…これがわたしたちの働きである。」(天国で 182)

- b. 克服されていない苦々しさ、偽善、妬みなどが、人々が神のみ言葉を受けのを妨げてきた例を挙げなさい (創世記 4:5-8; マルコ 15:10; 使徒行伝 13:44, 45)。

「わたしたちの祈りも、常に速答があるとは思われない。…わたしたちが、神に願っているときに、神はわたしたちの側に自己反省と、罪の悔い改めの必要があることを認められる場合もあろう。そのようなときに、神は、わたしたちにさまざまの試練と、恥辱をお与えになる。そして、聖霊がわたしたちを通してお働きになるのを妨げているものがなんであるかをお示しになる。」(キリストの実物教訓 119, 120)

「嫉妬は単なる気分の荒波ではなく、すべての能力を破壊する病気である。…

嫉妬深い人は他人の良い特質や高貴な行いには目をつぶる。彼はいつでも優れたものを過小評価したり、誤って伝えたりする用意ができています。人は他の欠点を告白したり、放棄したりすることがよくあるが、嫉妬深い人には少しの希望も持つことができない。人を妬むということは、その人が優れていると認めることなので、誇りはいかなる譲歩も許さない。嫉妬深い人に自分の罪を認めさせようとするとその人はさらに苦々しくなるであろう。…

嫉妬深い者は行く先々で毒をまき散らし、友人を遠ざけ、神と人間に対する憎しみと反逆をかき立てる。」(教会への証 5巻 56)

4. 混じりけのない霊の乳を慕い求める

- a. ペテロは神のみ言葉がわたしたちの魂を改心させる力であることを指し示したのち、どのような「願望」を働かせるようにと勧めていますか（ペテロ第一 2:2）。

「聖書を研究するに伴って、それを正しく理解するようになる。…

聖書研究より知性を強めるために適しているものはない。他のどんな本も、聖書の広くて高尚にする真理ほど、思想を高めて機能に活力を与えるのに有力なものはない。もし、神のみ言葉が、しかるべきほどに研究されるならば、人は、この時代にはめったに見られることのない思いの広さと品性の高尚さを持つようになる。

神のみ言葉の研究から得られるほど、堅固で、一貫しており、遠大な知識はない。」
(天国で 135)

- b. 人々が神のみ言葉を研究することを拒む一つの理由を挙げなさい（ヨハネ 3:19, 20）。

「あなたは聖書を軽視した。あなたが証の書を軽蔑し、拒否するのは、証があなたの大切な罪を非難し、自己満足を邪魔するからである。」（教会への証 5 巻 49）

- c. アテネの哲学者たちは何に時間を費やしていましたか、また今日わたしたちは、特にインターネットやソーシャルメディアの乱用によって、どのように同じような問題に直面していますか（使徒行伝 2:21-23, 32; コリント第二 4:3, 4）。

「刺激的な物語が青年の精神にどれほど悪影響を及ぼすことだろう。あなたはそのような読書のあとで、神のみことばを開き、興味をもって、生命のみことばを読むことができるだろうか。神の書がつまらないと感じないだろうか。」（アドベンチスト・ホーム 473）

「多くの人が物語や小説を読むことで心を弱らせ、神の言葉に対する喜びを失っている。彼らは精神的に酔っており、この習慣を捨てない限り、人生と運命の厳粛な問題を正しい光で見ることができなくなるであろう。」（レビュー・アンド・ヘラルト 1891 年 4 月 14 日）

5. 霊的成長

- a. もしわたしたちが神のみ言葉の勤勉な生徒であり続けるのであれば、何が不可能でしょうか (ペテロ第二 3:18 (上句))。

「使徒ペテロは、聖書を学ぶように、そしてそれを正しく理解して、永遠のために確かな働きをするようにと、信者たちを励ました。ペテロは、最後に勝利者となる者はみな、当惑や試みの場を経験することを知っていた。しかし彼はまた、聖書を理解していれば、試みられる者は、心を慰め、偉大なるかたへの信仰を強める、いくつもの約束を思い出すことができることを知っていた。」(患難から栄光へ下巻 220)

- b. 「主が恵み深い方であること」を味わい知ったにもかかわらず、神の言葉を心に適用することを怠っている人々は、どのような危険にさらされていますか (ペテロ第一 2:3; ヘブル 6:4-6)。

「多くの者は、自分たちが真理を主張してきた長い年月を自己満足のみで見ている。彼らは今、過去の試練と従順であったことの報いを受ける権利があると感じている。しかし、過去に神の事柄におけるこの真の経験により、彼らは自分たちの誠実さを保ち、完全さを目指して進まなかったことに対して、神の前でさらに彼らを有罪とするであろう。昨年の忠実さは、今年の怠慢を決して贖うことはできない。昨日の誠実さは今日の虚偽を贖うことはできないのである。」(教会への証 5巻 63)

「一人ひとりが主を求めよう。これまでの宗教体験が表面的な働きでしかなかった人たちは、神に近づこう。」(同上 9巻 216)

個人的な復習問題

1. 真の改心した経験の実は何ですか。
2. もし今夜死ぬとしたら、わたしが主にお会いする準備ができているかどうかをどのように知ることができますか。
3. 教会に好きではない兄弟姉妹がいるのでしょうか、そうであればなぜですか、彼らに対する感情の原因は隠れた嫉妬や妬みでしょうか。
4. 個人的に聖書の勉強をするには、どれくらいの頻度が望ましいでしょうか?
5. キリストにあって成長することと停滞することの違いを説明しなさい。

第一安息日献金 世界のミッションのために

「天は、魂に対する人々の無関心さに憤慨している。そのことについてキリストがどう思っておられるか知りたいだろうか。父母は、自分の子供が寒さと雪の中に行き暮れているのに、それを救えたはずの人たちからみすごしにされ、死ぬがままにほうっておかれたことを知ったらどう思うだろうか。」(各時代の希望下巻 374)



靈的に言えば、これらの「寒さと雪の中に命を失った」子供たちとはだれでしょうか。「無知と罪の鎖につながれて滅びようとしている幾百千万の魂が、彼らに対するキリストの愛を聞いたことさえないのである。もしわれわれと彼らの立場が入れかわったとしたら、われわれは彼らにどうしてもらいたいと望むだろうか。われわれは自分の力の及ぶ限り、そうしたことをすべて彼らのためにする最も厳粛な義務がある。」(同上 112)

「真理の光が至る所で輝き出なければならぬ。こうして今は無知のうちに眠っている心が目覚めて改心するためである。すべての諸国、諸都市で福音が宣布されなければならない。」(伝道 19)

「しかし、信じたことのない者を、どうして呼び求めることがあろうか。聞いたことのない者を、どうして信じることがあろうか。宣べ伝える者がいなくては、どうして聞くことがあろうか。つかわされなくては、どうして宣べ伝えることがあろうか。」(ローマ人への手紙 10:14, 15, 上旬)

世界的な伝道が、まだ戸が開かれている間にいま必要です。実にこの時、わたしたちは真にイエスのみ言葉をこだまさせることができます。「わたしたちは、わたしをつかわされたかたのわざを、昼の間にしなければならぬ。夜が来る。すると、だれも働けなくなる。わたしは、この世にいる間は、世の光である。」(ヨハネによる福音書 9:4, 5)

この暗い惑星上でメッセージを伝える必要がある場所に、だれもが自ら行けるわけではありません。それでも、このメッセージを受け入れるには、わたしたち全員が何らかの犠牲を払う必要があります。地球全体が神の栄光で明るくなるまで、時間、配慮、エネルギー、資金をこの仕事に熱心に投資しなければなりません。世界宣教に対するあなたの忠実な寛大さは、大きな違いを生むことができます。

世界総会から皆さんの兄弟より

生ける石

暗唱聖句：「この主のみもとにきて、あなたがたも、それぞれ生ける石となって、霊の家に築き上げられ、聖なる祭司となって、イエス・キリストにより、神によるこぼれる霊のいけにえを、ささげなさい。」(ペテロの第一の手紙 2:5)

「この時代のための真理を理解する人々は、どのように聞き、どのように建てるかに気をつけ、また実践するように他の人々を教育しなければならない。」(セレクット・メッセージ 3巻22)

推奨文献： 預言の霊 2巻272-274

日曜日

4月28日

1. 過去に例証された

- a. イザヤの預言に言及し(イザヤ書 28:16)、ペテロはどのようにイエス・キリストを例証しましたか(ペテロの第一の手紙 2:4, 6)。
- b. この例証は、どの歴史的な出来事の上に成り立っていますか(ペテロの第一の手紙 2:7)。

「ソロモンの神殿を建設するにあたり、石は完全に石切り場で準備され、それらが運ばれた時には、…石工たちはただそれらをはめ込むだけでよかった。…

それが建設場に持ち込まれた時には、石の上に工具を用いることはなかった。宮の基礎に用いられるために、一つ変則的な形の石が石切り場から運ばれてきた。しかし石工たちはその石のための場所が見つけれなかった。…それは用いられずに置いておかれ、働き人たちはそのまわりを通ったり、その上につまずいたりして、そこにあるのが大いに迷惑であった。長い間、それは拒まれた石であった。しかし、建設者たちが隅のかしら石を置く段階になると、彼らは…その上に置かれることになる大きな重圧に耐えられる十分な大きさと強さの石を長い間むだに探しまわった。彼らがこの重要な場所のための石の選択を誤るならば、建物全体の安全が脅かされるのであった。…

建設者たちの注意はついにこの大きな石にひきつけられた。そして彼らはそれを厳密に吟味した。それはすでにすべてのテストに耐えていた。…石は受け入れられ、定められた場所に運ばれ、ちょうどぴったりであることがわかった。」(預言の霊 3巻36, 37)

2. 隅のかしら石

- a. イエスはシモンを「ケパ」、つまり「石」と名付けられましたが(参照:ヨハネによる福音書 1:42; マタイによる福音書 16:18, 19)、なぜペテロは「岩」、すなわちキリストがご自分の教会をその上に建てることのできるものにはなれなかったのですか(マタイによる福音書 26:73, 74; ガラテヤ人への手紙 2:11-13)。

「ペテロは行動において速く熱心で、大胆で妥協しなかった。そしてキリストは彼のうちに教会にとって大きな価値となる材料を見出された。」(教会への証 4 巻 488)

「ペテロは、その上に教会を建てられる岩ではなかった。よみの門は、ペテロがのろいと誓いをもって主をこぼんだときに打ち勝った。教会は、よみの門が打ち勝つことのできないおかたの上に建てられた。」(各時代の希望中巻 180)

「キリストはペテロをご自分の教会を建てようとなさる岩としては言及されなかった。このお方の表現『この岩』はクリスチャン教会の基礎として、ご自身にあてはめられた。イザヤ 28:16 に、同じ言及がなされている。…これはルカ 20:17, 18、…またマルコ 12:10, 11…にも言及されている同じ石である。

これらの聖句はキリストこそ教会がその上に建てられる岩であられることを決定的に証明している。」(預言の霊 2 巻 272, 273)

- b. 教会の基礎となるよりもむしろ、ペテロは指導部にいるさまざまな兄弟の一人であった証拠をあげなさい(ガラテヤ人への手紙 2:9; ペテロの第一の手紙 5:1; エペソ人への手紙 2:20, 21)。

「ヤコブは会議〔使徒行伝 15 章参照〕において議長をつとめていたが、彼の最終的決定は『そこで、わたしの意見では、異邦人…に、わずらいをかけてはいけない』ということであった。…」

これで話し合いは終わった。この例を見れば、ローマ・カトリック教会が教えるようにペテロが教会の頭ではなかったことがわかる。…ペテロの生涯において、彼が神の代理者として兄弟たちの上位にあがめられたという主張を是認するようなもの、何もない。」(患難から栄光へ上巻 209, 210)

- c. ペテロはどなたこそ、唯一の堅固な岩、かつ教会の真の基礎になられると考えていましたか(ペテロの第一の手紙 2:3-6)。

3. つまずきの石

- a. イエスに属するとみなされている資質の一つあげなさい。そしてそれはどのように罪人のための福音のメッセージと関わりがありますか（ペテロの第一の手紙 2:4（上句）、7）。

「命の言葉が語られるとき、あなたの心からの応答が、そのメッセージを天からのものとして受けたことを証するようになさい。これは非常に時代遅れであることをわたしは知っている。しかし、それは飢えた魂に与えられた命のパンのための神への感謝のさざげ物となる。聖霊の靈感へのこの応答は、あなた自身の魂を強め、他人を励ますものとなるであろう。それは神の建物には、光を発する生ける石があるという証拠になる。」（教会への証 6 巻 367）

- b. 現代の真理に通じている人々でさえ、「み言葉につまづく」危険性があることが、どのようにわかりますか（ローマ人への手紙 9:31-33; ペテロの第一の手紙 2:8）。

「主はその大いなる憐れみのうちに、ワゴナー長老とジョーンズ長老を通して、ご自分の民へ最も尊いメッセージを送られた。このメッセージは、掲げられた救い主、全世界の罪のための犠牲を世の前に著しく提示するものであった。それは保証人を信じる信仰を通しての義認を提示した。それはキリストの義、神のすべての戒めへの従順のうちに表されている義を受け入れるようにと民を招いた。多くの人々がイエスを見失っていた。彼らはこのお方の神なる人、このお方の功績、また人類家族のためのこのお方の不変の愛へ、自分たちの目を向ける必要があった。」（牧師への証 91, 92）

「ある人々は神が世界のための特別なメッセージを担うよう任命された人々に対して憎しみを培ってきた。彼らはミネアポリスでこの悪魔の働きを始めた。後に彼らが、神からのメッセージであることを証する聖霊の証拠を認め、感じたときに、彼らはさらにそれを憎んだ。なぜなら、それは自分たちに反する証だったからである。彼らは悔い改めるために自分たちの心をへりくだらせようとしなかった。」（同上 79, 80）

「神の民の低い状態を示された。…彼らはこのお方から離れ、なまぬるくなっていた。彼らは真理の理論は持っていたが、その救う力に欠けていた。」（教会への証 1 巻 210）

「ラオデキヤ教会に対するメッセージはわたしたちの状態に当てはまる。自分たちには全部の真理があると考え、神のみ言葉の知識に誇りを持ちながら、真理の聖化する力がその生活の中に感じられない立場がなんとはつきりと描かれていることであろう。」（信仰と行い 82, 83）

4. 生ける石になる

- a. ペテロはどのようにクリスチャンの成長を描写しましたか（ペテロの第一の手紙 2:5）。
- b. 神の霊的な家の「生ける石」になるとは、どういう意味ですか（エペソ人への手紙 4:13, 15, 16）。これをヨハネの黙示録 3:1（下句）、2 と対比しなさい。

「今、わたしたちはこれらの真に知的な人々と働かなければならない。…これらの荒い石はもしわたしたちが神の働き場に運び込むことができれば、そこで切られたり四角にされたりして、すべての荒い角が取り除かれ、彼らは神の宮の宝石となるまで神のみ手の下で磨かれ、光を放射する生ける石となるであろう。こうして彼らは神のために聖なる宮にまで成長することができる。」（伝道 573）

「主は心のない奉仕、実際にはキリストのおられない儀式の繰り返しをお受入れにならない。このお方の子らは神の建物の生ける石とならなければならない。もしすべての人が自らを余すことなく神に捧げるなら、もし彼らが自分たちの娯楽や遠足、楽しみを愛する交わりを研究し計画することをやめて、み言葉を研究するなら…彼らは興奮や変化に飢えかわくことは決してないであろう。もし霊的になることが本当にわたしたちの利益であるなら、そしてもしわたしたちの民の救いが、とこしえの岩なるお方にわたしたちが固定されていることにかかっているなら、建物全体を隅のかしら石にしっかりと密着させるものを探し求めることに従事するほうが良くないだろうか。こうしてわたしたちが自分たちの信仰において混乱したり、困惑したりしないためである。」（クリスチャン教育の基礎 461, 462）

- c. わたしたちが神に捧げるのできる最上の「霊のいけにえ」は何ですか（ペテロの第一の手紙 2:5（下句）；詩篇 51:17；サムエル記上 15:22（下句））。

「いにしえの時代、燔祭と犠牲は、その捧げものを捧げる精神が正しくないかぎり、神に受け入れられなかった。サムエルは次のように述べた。…『見よ、従うことは犠牲にまさり、聞くことは雄羊の脂肪にまさる』。地上のすべての金銭でも神の祝福を買うことはできないし、あなたに一つとして勝利を保証しないのである。

多くの人は、まさに彼らが捧げるべきもの、すなわち自分自身を明け渡すこと、自分の意志を神のご意志に従わせること以外であれば、何でも、またすべての犠牲を払うのである。」（教会への証 84 巻）

5. わたしたちは自分たちが主張する通りのものだろうか

- a. 聖書のどの言葉を、わたしたちは大胆に自分たちにあてはめがちですか（ペテロの第一の手紙 2:9（上句）、10.）。
- b. どの種類の人々だけに、ペテロの第一の手紙 2:9 からの上記の言葉をあてはめることができますか（ペテロの第一の手紙 2:5, 9（下句）；マタイによる福音書 5:16；ローマ人への手紙 2:28, 29）。

「自分の理解力に神のみ言葉が開けて啓発された思いを持つ人は、神に対する、また世に対する自分の責任を悟る。そして彼は自分のタラントを、最上の結果を生み出すような方法で発達させなければならないと感じるのである。なぜなら、彼は『暗やみから驚くべきみ光に』招き入れて下さったお方を『語り伝える』ためである（ペテロ第一 2:9）。恵みと主イエス・キリストを知る知識とに成長する一方で、彼は自分自身の不完全さを自覚するようになる。彼は自分の実際の無知を感じ、絶えず自分の頭脳の力を維持し伸ばすことを求めるようになる。こうして彼は知的なクリスチャンになることができる。」（両親、教師、生徒への勧告 37）

「神は、右手や額に獣の刻印を受けない民を持っておられる。神は神の民が光を反射するために、この世に神の民が占めるべき場所を持っておられる。」（ビュー・アット・ハルト 1890 年 4 月 15 日）

個人的な復習問題

1. わたしたちはどのように自分自身の考えではなく、むしろイエスの上に建てていることを確かめることができますか。
2. キリストはペテロのうちに教会にとって大きな価値のある資質をごらんになりました。わたしは教会をより良くするために、何をしていますことができますか。
3. わたしは教会のためになした忠実な働きや、改革のさまざまな面で進歩があった数年間を、どのように救いのための功績だとみなす危険がありますか。
4. 何がわたしを神の宮における真の「生ける石」にすることができますか。
5. 何が聖なる「神につける（特別な）」クリスチャンを、単に名前を主張する人と対照的に特定しますか。

世に対して証をする

暗唱聖句：「善を行うことによって、愚かな人々の無知な発言を封じるのは、神の御旨なのである。」（ペテロの第一の手紙 2:15）

「キリストの王冠は、この世の主権者の王冠より高くかかげられねばならない。」
（患難から栄光へ上巻 68, 69）

推奨文献： 教会への証 1巻 358-361

日曜日

5月5日

1. 魂に対して戦いを挑むものを避ける

- a. 何が最も重要なものの一つであり、かつすべての寄留者にとって、困難な戦いですか（ペテロの第一の手紙 2:11；ヨハネの第一の手紙 2:15, 16）。

「精神と肉体の関係を理解した使徒ペテロは、兄弟たちに向かって警告の声をあげ、『愛する者たちよ、あなたがたに勧める。あなたがたは、この世の旅人であり寄留者であるから、魂に戦いをいどむ肉の欲を避けなさい』と言った。多くの人が、この聖句を単に放蕩な生活に対する警告と見なすが、それには更に広い意味がある。すべての有害な食欲または情欲を満足させることを禁じているのである。食欲は良い目的のために与えられたものであって、これが歪められて死の使いとなり、変質して『魂に戦いをいどむ肉の欲』となってはならない。…」

食欲にふけるように誘う誘惑の力は、荒野においてあのような長い断食をなさった我々の救い主の言い知れぬ苦悶によってのみ測ることができる。歪められた食欲の放縦は人間の知覚をあまりに麻痺させてしまうため、神聖な事物を識別することができなくなることを、彼は知っておられた。放縦な食欲の…勢力を破るために、尊い神の御子が人間の代わりに六週間近くも断食なさらなければならなかったとすれば、クリスチャンの前には何という大変な仕事があることだろう。それでも、戦いがどれ程大きくても勝利することができるのである。…神の力により、人間もまた、悪との戦いにおいて完全な成功を収めることができ、最後に神の王国で勝利者の冠をかぶることができる。」（食事と食物に関する勧告 153, 154）

2. 良い行いを通して説く

- a. なぜすべての真のクリスチャンはこの世の旅人もしくは敵とさえみなされるのですか（ペテロの第一の手紙 2:12; コリント人への第一の手紙 1:18, 23; 2:14）。

「ユダヤ人の聴衆の中には、パウロが宣べ伝えようとしていた使命に腹を立てる人々がたくさんいたであろう。ギリシヤ人の見るところでは、パウロの言葉はばかげた愚言であったであろう。十字架が民族を高尚にし、人類を救うことに関係があるということを示そうとしたパウロは、知能の低い者とみなされたであろう。

しかし、パウロにとって、十字架は最高の関心をはらうべき唯一の対象であった。」（患難から栄光へ上巻 264）

「神のみ言葉をそのまま純粋に説く者は、昔以上の歓迎を受けることはない。真理に対する反対の形態は変わり、巧妙になって、公然と敵意を表すことはないかもしれない。しかし、同じ敵対心が依然として存在し、時の終わりに至るまで表されるのである。」（各時代の争闘上巻 169）

- b. ペテロは福音を説き『愚かな人々の無知』を扱うのに最上のテクニックとして何を指し示しましたか（ペテロの第一の手紙 2:12, 15）。

「わたしたちの牧師や教師は墮落した世界に神の愛をくり返さなければならない。やさしさのうちに溶かされた心をもって、真理の言葉が語られるようにしよう。過ちのうちにいるすべての者が、キリストのやさしさをもって扱われるようにしよう。もしあなたの労している魂がすぐに真理をつかまなくても、非難してはならない。批判してもとがめてもならない。あなたはキリストをその柔和とやさしさと愛のうちに表すべきことを覚えていなさい。わたしたちは不信と反対に直面することを予期していなければならない。真理はいつもこれらの要素と直面しなければならなかった。しかしあなたが最も苦々しい反対にあうとしても、あなたの反対者を公然と非難してはならない。…

あなたは過ちのうちにいる人々に対して、柔和をもってふるまわなければならない。なぜなら、あなた自身も自分の罪のうちに最近まで盲目だったのではないだろうか。そしてあなたに対するキリストの忍耐のゆえに、あなたは他の人々に対してやさしく忍耐強くなるべきではないだろうか。神はわたしたちに、わたしたちは魂を誤った方向へと感化を及ぼすことがないように、自分たちに反対する人々に対して大きな親切をあらわすよう数多くの訓戒を与えてこられた。」（教会への証 6 巻 120, 121）

3. クリスチャンの屈服

- a. 市民当局と国の法律に対して、わたしたちがとるべき態度を述べなさい（ペテロの第一の手紙 2:13-17）。

「使徒ペテロは、信者たちが公の権威に対してとるべき態度を明瞭簡潔に述べた。『あなたがたは、すべての人の立てた制度に、主のゆえに従いなさい。』（患難から栄光へ下巻 221）

- b. 国の法律が神の律法と対立する場合に何をなすべきか例をあげなさい。またどのような態度でなされるべきですか（使徒行伝 5:29; 出エジプト記 1:15-17; ダニエル書 6:7-10, 21, 22）。

「わたしは神がシナイから聞こえる声で語られたより高い律法と対立しないかぎり、あらゆる場合に我が国の法律に従うことが、われわれの義務であることを見た。」（教会への証 361 巻）

「われわれは、権威を無視するようには求められていない。法と秩序に反対する者と思われるようなことをしゃべったとして記録されることがないように、…注意深く気をつけなければならない。われわれは、キリストのみ名によって前進し、ゆだねられた真理を擁護しなければならない。もしこの働きを人々から禁じられるような場合には、使徒たちと同じように、答えることができる。」（患難から栄光へ上巻 69）

「神の律法が心に示された人は、人よりも神に従う。…神の律法の知恵と権威が最上である。

わたしは神の民、すなわち神の特別な宝である者は、この複雑な戦争〔アメリカの市民戦争 1861-1865 年〕にたずさわることができないことを見た。なぜなら、それは彼らの信仰の一つ一つの原則に反するからである。軍では自分たちの長官に従いながら同時に、真理に従うことはできない。絶えず良心を犯すことになる。」（教会への証 1 巻 361）

- c. もしわたしたちが自分の職場で「僕」であれば、どのような種類の働き人になるべきですか（ペテロの第一の手紙 2:18; コロサイ人への手紙 3:23）。

「もっともつつましい種類の仕事に科学がある。そしてもしすべての人がそのようにみなすなら、彼らは労働の中に高尚さを認めるのである。」（クリスチャン教育の基礎 315）

4. 不当に苦しむ

- a. わたしたちを虐待し、腹を立て、軽蔑し、嘲笑する人々に対するわたしたちの態度はどうあるべきですか（ペテロの第一の手紙 2:19, 20; ローマ人への手紙 12:19-21）。

「わたしたちに対する実際上または仮定上の不正行為のため自分の精神をいらだたせるわけにはいかない。自我はわたしたちの最も恐るべき敵であって、どういう形の悪も、聖霊に制せられていない人間の情欲に比べると、それほど有害な影響を品性に及ぼさないのである。また勝つことができた他のどんな勝利に比べても、自己に打ち勝つ勝利ほど尊いものはない。

感情をたやすく害してはならない。わたしたちは自分の気持ちや名声を守るために生きているのではなく、人を救うために生きなければならない。……他人が自分のことをどんなに思い、自分に対してどのようにふるまっても、そのためにキリストと自分との結合、聖霊との交わりを妨げる必要はない。……

復讐してはならない。できる限り、あらゆる誤解の原因を取り除き、悪い外見を避けなさい。原則を犠牲にしないかぎり、全力を尽くして人と融和しなさい。……」

短気な言葉をかけられても、決して同じ精神で答えてはならない。」（ミニストリ・オブ・ヒーリング 469, 470）

- b. 神はなぜわたしたちが残酷で邪悪な人々の手で苦しめられることをお許しになるのですか（マタイによる福音書 5:11, 12, 43-48）。

「神が不思議な摂理のうちに、義人が悪人に迫害されることを許されることは、信仰の薄い多くの者を大いに困惑させてきた問題である。神が、極悪人たちを栄えるがままにしておかれ、一方最も善良で純潔な人々が、彼らの残酷な力によって悩まされ苦しめられるのを見て、神に対する信頼を捨て去ろうとする者さえいる。正義にしてあわれみ深く、無限の力を持ったかたが、どうしてこのような不正と圧迫を黙認しておられるのか、と人々は問う。しかし、これはわれわれの関知すべき問題ではない。神はその愛について十分な証拠を与えておられるのだから、われわれは神の摂理の働きが理解できないからと言って、神の慈愛を疑ってはならない。……

「〔主は〕ご自分の子供たちを忘れてたり、おろそかにしたりなさらない。ただ、主のみこころを行なおうとする者がだれも悪人に欺かれることがないように、悪人の本性があらわされることをお許しになるのである。また、義人たちが苦難の炉に入れられるのは、彼ら自身が清められるためである。」（各時代の争闘上巻 41, 42）

5. 模範に従う

- a. クリスマンたちを苦難や迫害に喜びをもって対応するよう励ました後、ペテロはそうするもっとも強力な論拠として何を提示しましたか（ペテロの第一の手紙 2:21-24）。

「イエスはわれわれのために、彼のどの弟子が悪人の残虐によって苦しめられるよりも激しい苦しみを受けられた。苦しみに耐え、殉教するために召された者は、神の愛するみ子の足跡をふみ従うに過ぎないのである。」（各時代の斗争闘上巻 41）

- b. 使徒はわたしたちがどのように苦難に直面することになるかについて自分の思想を述べた最後に、どの励ましとなる例証を提示しましたか（ペテロの第一の手紙 2:25; ヨハネによる福音書 10:11）。

「キリストは失われた羊のために、探索する探し出す者としてあらわされている。わたしたちをとりまくのはこのお方の愛であり、わたしたちを囲いへ連れ帰る。このお方の愛はわたしたちに天国でこのお方と共に座する特権を与える。」（教会への証 479 巻）

「わたしたちの働き人—牧師、教師、医者、指導者—はみな自分たちがキリストと共に協力をすることを誓約していることを覚えている必要がある。…彼らは絶えず救い主の愛、このお方の効果、このお方の見守り、このお方のやさしさを自覚し、心にいだいているべきである。彼らは自分の魂の羊飼ひ、監督者としてこのお方をながめるべきである。そのとき、彼らは天使たちの同情と支援を受けるようになる。キリストが彼らの喜びとなり、歓喜の冠となられる。彼らの心は聖霊によって支配され、彼らは単なる名目的信徒たちは決して得ることのできない真理の知識を得るようになる。」（両親、教師、生徒への勧告 284）

個人的な復習問題

1. わたしはどのように食欲と情欲の奴隷状態から救出されることが出来ますか。
2. 何がわたしの生活を、福音の力の生きた証としますか。
3. わたしが当局に対してよりよく従順をあらわすことができるいくつかの方法は何ですか。
4. 偽って告発されたり、あるいは怒鳴られることさえあるとき、わたしの応答はどうあるべきですか。
5. 何がわたしに真心から進んでイエスのために苦しむようにさせますか。

夫や妻への訴え

暗唱聖句：「あなたがたのうやうやしく清い行いを見て、その妻の無言の行いによって、救いに入れられるようになるであろう。」ペテロの第一の手紙 3:2

「家庭は非常に神聖なものであるから、下品さ、官能、非難の応酬によって汚されてはならない。『わたしはあなたのわざを知っている』と宣言される証人がおられる。愛、真理、親切、そして寛容が心の園の中で培われる植物であるようにしなさい。」(思い、品性、個性 1巻 157)

推奨文献： アドベンチスト・ホーム 99-113, 189-192

日曜日

5月12日

1. しばしば見過ごしにされる聖書的な資質
 - a. 家族の幸福にとってどの重要な原則が、今日、女性によってしばしば拒まれていきますか (ペテロの第一の手紙 3:1 (上句); エペソ人への手紙 5:22-24; コロサイ人への手紙 3:18)。

「姉妹がた、あなたは自分が夫と結婚したときに、何を期待していただろうか。あなたは自分自身の手中に統治の手綱をとり、彼の意志を自分たちのゆがんだ頑固な意志に合わせることを期待していたのだろうか。あなたがたの夫は、その結婚生活でどれほどの休息、満足、平安、喜びを実現してきただろうか。ほとんどなかったのである…妻は自分自身が人形であり、面倒を見てもらうべきものだと考えてはならない。そうではなく女性、すなわち自分の肩に、想像上ではなく、現実の重荷を置き、自分自身のことよりも考えるべき他の存在がいることを考えて、理解のある思慮深い生活を送るべき者として考えるべきである。

神があなたが何者かをわたしに示されたことを、あなたの夫があなたに見出したとしたら、彼は失望すると思わないであろうか。彼はあなたが何の重荷も負わず、何の困惑も共有せず、何の自己否定も働かせないだろうと思って、あなたと結婚したのであるか。彼は、あなたが自己を制御し、快活、親切、寛容であるために、また常識を働かせるために何の義務も感じないだろうと思ったであろうか。」(原稿リリース 17巻 310, 311)

- b. 改心した妻が、不信者の夫に手を差し伸べる最も効果的な方法は何ですか (ペテロの第一の手紙 3:1, 2; コリント人への第一の手紙 7:10, 13, 14)。

2. 調和の取れた関係を促進する

- a. ペテロは妻の夫に対する関係の模範として、どの聖書的な例を用いましたか（ペテロの第一の手紙 3:4-6）。この関係におけるバランスを説明しなさい（創世記 21:9-12）。

「結婚関係の神聖さについてアブラハムに与えられた教訓は、各時代の教訓となるものであった。それは、どんな犠牲を払っても、結婚関係の権利と幸福とは慎重に守るべきことを言明している。サラが、アブラハムのただひとりの真の妻であった。妻また母としての彼女の権利は、他の何人も共有する資格がなかった。彼女は夫を敬ったので、それが新約聖書の中でりっぱな模範としてあげられている。彼女は、アブラハムの愛情が他の女に与えられることを喜ばなかった。主は、彼女が相手の女を追放することを求めたときに、彼女を責められなかった。」（人類のあけぼの上巻 152, 153）

- b. 何がしばしば夫を家族の輪の中でみじめにし、社会における彼の評判を損ないますか（箴言 14:1; 25:24; 27:15; ペテロの第一の手紙 3:4 と対比）。

「非常に多くの夫や子供たちが、家庭に何の魅力も見いだせず、いつも小言や不満で迎えられるので、家庭の外で、酒場や禁じられている快樂の場で慰安や楽しみを求める。家庭の心配事でいっぱいになっている妻であり母親である人は、たとえば彼女の特別な心配事やなやみを夫や子供たちの前でよくよと思案することを避けても家庭を楽しくする小さな礼儀に心をくばらなくなることがきわめて多い。彼女が食べ物や着るものを準備することに一生けんめいになっている間に、夫や子供たちは他人のように家を出入りする。

「家庭の主婦は、彼女の外部的なつとめをきちんと果たしながらも、彼女が運命づけられている奴隷状態の非を絶えずならし、自分が望んでいるより高い女性の生活と、自分の運命を比較し、彼女の責任と制限を大げさに誇張するかもしれない。……彼女はこうして違った生活をむだに求め、罪深い不満をいだき、夫と子供にとって家庭を非常に不愉快なところとする。」（アドベンチスト・ホーム 274）

「神に献身していない牧師の妻は、夫にとって助けとならない。彼が十字架を担う必要を考え、自己否定の重要性を訴えているときに、彼の妻の日々の模範はしばしば彼の説教と矛盾しており、その力を破壊するのである。」（福音宣伝者 210）

3. 危険な形態の誇り

a. クリスチャンの妻はどのように自らを魅力あるものとしますか（箴言 31:25-29）。

「〔妻は〕自分の夫を自分に結びつけるために、勤勉に自分の力のなしうことは彼に対してもっとも厳密な忠誠によって為し、彼の家庭を快活で魅力的にすべきである。」（教会への証 5 巻 598）

「神はそれがだれであっても、だらしがなかったり怠慢であったり、不徹底であることをよろこばれない。こういう欠点は重大な悪である。夫がせいとんを好み、子供がよくしつけられ家庭が規則正しくあることを愛する人であれば、そうした欠点は妻に対する彼の愛情を失わせる。彼の愛情を失わせる。…妻や母親は、せいとんを愛し、威厳を持ち、家の中を要領よく処理しなければ、家庭を快適に幸福にすることはできない。だからこういう面において足りない点のある人は、さっそく自分を訓練して、最も欠けているものを養い育てなければならない。」（アドベンチスト・ホーム 12）

b. 改心していない妻はしばしばだれの気を引こうとしますか。そしてその結果は何ですか（箴言 7:6, 7, 10, 18, 19; 列王紀下 9:30; イザヤ書 3:16-26）。

「誘惑者となる女、すなわち自分の最善を尽くして男を自分自身へ惹きつけ、注意を勝ち取ろうとする者がいるであろう。」（レビュー・アンド・ヘルト 1887 年 5 月 17 日）

「派手でぜいたくな衣服はしばしば着る者の心の中に欲を促進し、見る者の心の中に低俗な情欲を目覚めさせる。神は品性の墮落がしばしば衣服における誇りと虚栄にふけることのあとに続くことをごらんになる。」（チャルト・ガダンス 416）

c. ほとんどのクリスチャン女性が意識的に男性を姦淫へ誘惑しようとしてるのではないかもしれませんが、どのようなかたちの誇りに対してすべての人が警告されていますか（ペテロの第一の手紙 3:3; テモテへの第一の手紙 2:9）。

「あなた〔とあなたの夫〕にとって、あなたたちの誇りほど大きな妨げとなってきたものは他になかった。あなたがたは二人とも見せびらかすのが好きである。これは善なる謙遜な宗教に何のかかわりもない。」（教会への証 2 巻 493）

「聖書は衣服における慎み深さを教えている。…これは衣服における見せびらかし、けばけばしい色、おびただしい飾りを禁じている。来ている人に注意を引いたり、感嘆をかきたてることを意図したどんな仕掛けも、神のみ言葉が課している慎み深い身なりからは除外されている。

衣服における自己否定は、クリスチャンの義務の一部である。簡素に衣服をまとい、宝石やあらゆる種類の飾りの見せびらかしを控えることは、わたしたちの信仰を守ることのうちに含まれている。」（チャルト・ガダンス 423）

4. 夫の義務

- a. 妻に訴えた後、ペテロは夫にどのような深刻な訓告をしましたか。またそれを無視したときの霊的な結果は何ですか（ペテロの第一の手紙 3:7）。

「夫は同情と不変の愛情をもってその妻を助けるべきである。もし妻を家庭の太陽のように、はつらつとうれしそうにしておきたければ、夫は妻が重荷を負うのを助けなさい。夫の親切と愛にみちた 礼儀は彼女にとって尊い励ましとなり、夫が与えた幸福は、夫自身の心にも喜びと平安をもたらす。」（アドベンチスト・ホーム 237, 238）

- b. 改心していない夫は、どのように妻の生涯をみじめなものとするか、例をあげなさい（サムエル記上 25:3, 14, 17, 23-25）。

「夫が暴君的で、きびしく、妻の行為に対して批判的であれば、妻の尊敬と愛情を保つことはできない。結婚関係は妻にとって不愉快なものとなる。夫は愛されるようにしないから、妻は彼を愛さない。夫は注意深く、ていねいで、誠実で、忠実で、同情深くなければならない。彼は愛と同情をあらわさなければならない……夫がすべてのクリスチャンが持たなければならない高貴な品性、純潔な心、高い精神を持つなら、それは結婚関係に表わされる。……彼は妻を健康で元気な状態に保つように努める。家庭に平和な雰囲気を作り出すために慰めのことばを語るように努める。」（同上 248, 249）

- c. 真のクリスチャンの夫は、妻が好意的に応じることができるよう、妻に対してどのような態度であるべきですか（エペソ人への手紙 5:25, 28, 33; コロサイ人への手紙 3:19）。

「夫は型であるお方を研究すべきである。そしてエペソ書に提示されている象徴が何を意味しているかを知らうと努めるべきである。…夫は家庭の中において、救い主のようであるべきである。彼は自分の高尚な神に与えられた男らしさのうちに立ち、つねに自分の妻と子供たちを引き上げようとしているだろうか。…すべての夫、父親はキリストのみ言葉を理解するために研究すべきである。ただ妻がその夫に従うべきであるということばかりを考える一方に偏ったやりかたではなく、カルバリーの十字架の光の中で、家族の輪の中における自分自身の立場に関して研究すべきである。」（原稿別ス 21 巻 216）

5. クリスマン家族の中に「ボス」はいない

- a. 夫と妻の関係はどれくらい緊密であるべきですか（創世記 2:23, 24; マタイによる福音書 19:4-6）。

「夫にしても妻にしても相手を支配することを主張してはならない。主はこの問題の指針となる原則を定めておかれた。夫はキリストが教会をたいせつになさるように妻をたいせつにしなければならない。妻は夫を愛し尊敬しなければならない。どちらも親切な心を育て、相手を悲しませたり傷つけたりしないことを決心しなければならない。」（アドベンチスト・ホーム 108）

「わたしたちは神のみたまを持たなければならない。さもなければ家庭に調和を保つことはできない。妻がキリストの精神を持っているなら、ことば使いに注意し、心を抑制し、従順である。しかしそのために自分を奴隷と感ずることはなく、夫の友であると感じる。もし夫が神のしもべであれば、彼は妻に対していばったり、独裁的であったり、か酷であったりすることはない。家庭は、神のみたまがそこに住みたまうとき天の象徴となるから、家庭の愛情をたいせつに育てるためにいくら心をくばってもくばりすぎるということはない。……一方が過ちを犯しても他方がキリストのような忍耐を示し冷淡にはなれたりしない。

「夫も妻も専横的な態度で相手に接してはならない。しいて自分の思い通りに相手を服従させようとしてはならない。そうするとき、相互間の愛を保つことはできない。親切、忍耐、しんぼう、思慮、礼儀をもちなさい。結婚の誓いに約束したように神の恵みによってお互いに相手を幸福にすることができる。」（同上 120, 121）

個人的な復習問題

1. わたしの伴侶に対するわたしの態度や声調は、どのようにもっと一貫して神がはつきりと命じてこられた諸原則を反映することができますか。
2. なぜわたしは自分の過ちを認めて、自分の伴侶からのゆるしを求めるのに、もっと早くあるべきなのですか。
3. 神はなぜわたしが自分の伴侶のために自ら死ぬ用意ができているように求めておられるのですか。
4. わたしは自分の思いの中で、どのように自分の伴侶を欺いて浮気をするのを避けられますか。
5. わたしの伴侶とわたしが祈りをもって、見せびらかしの誇りの罪を犯していないか—衣服において、料理の腕前において、乗り物や電子機器、家などの所有物において—考えることは、なぜ賢明なのですか。

クリスチャンの態度

暗唱聖句：「最後に言う。あなたがたは皆、心をひとつにし、同情し合い、兄弟愛をもち、あわれみ深くあり、謙虚でありなさい。」(ペテロの第一の手紙 3:8)

「キリストの御あとに従う者であると称していながら、ことばや態度が乱暴で不親切で無作法な人たちは、イエスを学んでいない人である。どなり散らしたりおうへいであったり、あげ足とりをしたりする人はクリスチャンではない。」(アドベンチスト・ホーム 486)

推奨文献： アドベンチスト・トホーム 479-488

日曜日

5月19日

1. 真のクリスチャンが必要とされている

a. ペテロは真のクリスチャンをどのように描写していますか(ペテロの第一の手紙 3:8)。

「礼節の価値についてはあまり認識されていない。本心は親切でありながら、態度に親切さの欠けている人が少なくない。誠実と正直さを人から尊敬されながら、悲しいことに温和の欠けている人が少なくない。この欠陥は本人自身の幸福を妨げ、また他人に対する奉仕を害している。」(教育 283)

b. ペテロは比類ないほど、キリストのようなどの特性を特に強調していますか(ペテロの第一の手紙 3:9; マタイによる福音書 5:44)。

「人間の社会的権利やクリスチャンとしての権利を考え、神のむすこ娘として、礼儀と思いやりをもってすべての人を取り扱うべきである。

キリスト教は人間を紳士にする。キリストは迫害者に対してさえ礼儀正しくされた。このお方に従う人々は同じ精神をあらわすようになる。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 474)

「この宗教は、わたしたちが手厳しい不正な取り扱いをつける場所での忍耐と寛容を働かせるよう、わたしたちに教える。…」

聖書の宗教の実践においては、忍耐、親切、自己否定、自己犠牲を絶えず必要としている。」(神の驚くべき恵み 248)

2. わたしたちの言葉を見張る

- a. ペテロは、来たるべき生涯と同様にこの地上での幸せな生涯の条件として、どの重要な原則を再び強調しましたか(詩篇 34:12, 13; ペテロの第一の手紙 3:10)。

「サタンは、神の群れを損なおうとすべての教会において働いている。…わたしはキリストに従うと公言する一人びとりの魂に、『あなたの舌をおさえて悪を言わず、あなたのくちびるをおさえて偽りを言わずな』と言うよう指示されている。自己称揚を通して、サタンは魂を破滅させる。そして彼の働きは一つ一つの教会の中で見ることができる。わが兄弟姉妹がた、あなたの精神を厳重な保護者の下に置き続けなさい。あなたの言葉を守りなさい。さもなければサタンが自分自身の歴史をくり返させようとあなたを導くことであろう。」(上を仰いで 114)

- b. この原則を犯した民の例をあげなさい。またそれはどのように、特にそれらを語った人に、困惑と不名誉を生じさせますか(サムエル記上 14:24-27, 43-45; エステル記 6:6-10)。

「いらだちや過酷、あるいは激情の言葉を一言もあなたの唇からもらしてはならない。キリストの恵みがあなたの要求を待っている。このお方の御霊はあなたの心と良心を支配し、あなたの言葉と行為を制御してくださる。決して、性急な無思慮な言葉によって自尊心を失ってはならない。あなたの言葉が純潔で、あなたの会話が聖なるものであるように確認しなさい。」(チャルド・ガイダンス 219)

- c. この原則を侵害することによって、どのように多くの人が永遠の命をゆだねられないことになりますか(ペテロの第一の手紙 3:10(下句)、ヨハネの黙示録 14:5; 21:27 参照)。

「茶やコーヒーを飲むこれらの人々が社交の場に集まると、…彼らの舌はゆるみ、他の人々を非難する仕事を始める。彼らはよくしゃべり、その言葉もよく選んだものではない。ちょっとしたうわさ話が次々に伝えられるが、同時に悪口の毒も皆に回されることが非常に多い。これらの軽率な饒舌家〔じょうぜつか〕たちは、証人のいることを忘れるが、目に見えない番人が彼らの言葉を天の書に記しているのである。これらすべての不親切な批判、誇張した情報、一杯の茶の刺激を受けて表現した嫉妬〔しつと〕の気持ちを、イエスはご自身に対するものとして記録なさるのである。」(食事と食物に関する勧告 400)

3. 平和を求める

- a. ペテロはその他どのようなクリスチャン生涯の重要な諸原則について、思い起こさせますか (ペテロの第一の手紙 3:11; イザヤ書 1:16, 17)。
- b. わたしたちはどのように「悪を避けて善を行」うことができますか (エレミヤ書 13:23、コリント人への第一の手紙 6:9-11 参照; ヨハネによる福音書 3:5; ヤコブの手紙 4:7)。

「[パウロが宛てて書いた人々] は自分たちの生活の中で、キリストの変化させる恵みによって彼らのうちに輝かしい変化がおこったことを表さなければならなかった。…彼らは自分自身の心を変えることはできなかった。そして自分たちの努力によって魂がサタンの隊列からキリストの側の立場をとるように導かれるとき、彼らは起こった変化を自分たちの手柄にしてはならない。…

神の力は世に、肉に、そして悪魔に対して勝利を得る偉大な働きにおいて、一つの効力の要素である。…人は神なしに、何一つなし得ない。そして神は人間が神と協力しないなら、人類の回復において、何もなしとげられないようにとご自分の計画を取決められた。人間が支えるために求められている役割は、計り知れないほど小さい。しかし、神のご計画において働きを成功させるためには、まさにその部分が必要とされている。

改心後に罪人の生活のうちに見られる大きな変化は、なんら人間の善によってもたらされるものではない。」(神の驚くべき恵 319)

- c. 福音の変化させる力に自らを委ねてきながら、なおさまざまな誘惑に打ち負かされている人々には、どの希望と約束が与えられていますか (ペテロの第一の手紙 3:12; ヨハネによる福音書 14:13, 14)。

「信仰と祈りによって、すべての人は福音の要求を満たすことができる。だれ一人として不法を犯すように強制され得ない。彼自身の同意がまず最初に得られなければならない。魂は情欲が理性を支配したり、悪が良心に対して勝利を得る前に、罪深い行為を意図しなければならない。誘惑はどれほど強くても、罪への言い訳とはならない。『主の目は義人たちに注がれ、主の耳は彼らの祈にかたむく。』誘惑された魂よ、主に叫び求めなさい。無力で、無価値なあなた自身をイエスのもとへ投じ、他ならぬこのお方の約束をわがものとして主張しなさい。主はお聞きになる。このお方は生来の心の傾向がどれほど強いものであるかをご存知である。そしてこのお方はすべての誘惑の時に助けて下さるのである。

あなたは罪に陥ったであろうか。それならば、一刻の猶予もなく憐れみと許しを神に求めなさい。」(教会への証 177 卷)

4. 恐れなく善を行う

- a. ペテロによって与えられたどの実際的な助言は、もし従うならば、わたしたちが関係における多くの問題を解決する助けとなりますか(ペテロの第一の手紙 3:13; 箴言 15:1)。

「怒っている人に口答えると、それはむちのように相手の感情を刺激し、ますます怒りを激しくするのが普通である。沈黙をもって怒りに対するとき、それは、たちまち消え失せる。クリスチャンたる者は決して荒々しい気短かなことばを吐かないという堅い決心のもとに、口にくつわをはめていなければならない。」(青年への使命 130)

- b. わたしたちの優しい思いやりにもかかわらず、和らぎそうにないと見える人々に、どのような方針をとるべきですか(ペテロの第一の手紙 3:14, 16, 17)。

「イエスご自身、決して妥協によって安全をお求めにならなかった。……キリストのしもべたちは同じ働きに召されているのであって、彼らは、不和を防ごうとして、真理を放棄するようなことがないように気をつけねばならない。……真の平和は決して主義を妥協させることによって確保することはできない。だれでも主義に忠実であれば必ず反対がひき起される。霊的であるキリスト教は、不従順の子らによって反対されるであろう。しかしイエスは、弟子たちに、『からだを殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな』とお命じになった(マタイ 10:28)。神に忠実な者たちは、人間の権力やサタンへの敵意を恐れるにおよばない。キリストのうちに彼らの永遠のいのちが確保されているのである。彼らのただ一つの恐れは、真理を放棄するようなことはないか、そうすることによって神からの名誉ある信任を裏切るようなことはないかということではなければならない。」(各時代の希望中巻 89, 90)

- c. あらゆる良い働きと親切な言葉の源は何であるべきですか(ペテロの第一の手紙 3:16(上句); 使徒行伝 24:16; ヘブル人への手紙 9:14)。

「神のみ言葉にわたしたちは、良い良心と悪い良心があることを読む。そしてあなたの良心が神の戒めを守らないことに呵責を感じなくても、それはあなたがこのお方の御目に有罪宣告を受けていないという証拠にはならない。あなたの良心を神のみ言葉に照らし、あなたの生活と品性が、み言葉の中に神が明らかにされた義の標準に従っているかを調べなさい。」(レビュー・アンド・ヘラルト 1901年9月3日)

5. 自分たちがどこに立っているかを知る

- a. わたしたちが神のみ言葉を日々研究すべき主な理由は何ですか（ヨシュア記 1:8; 詩篇 119:11; ペテロの第一の手紙 3:15; テモテへの第二の手紙 2:15）。
- b. 今日現代の真理を信じると主張する人々は、どの大きな危険のうちにいますか（ホセア書 4:6）。

「青年たちは柔和と恐れをもって自分たちの望みについて説明を求めるすべての人に答える立場に身をおいているであろうか。わたしは青年が大いに自分たちの立場を理解するのに失敗していることを見た。恐ろしい光景、すなわち品性の価値を試す悩みの時が、彼らの目の前にある。」（教会への証 507, 508 巻）

「現代のメッセージ—信仰による義認—こそ、神からのメッセージである。…

わたしたちはもし光と知識を求めて日々聖書を調べることをなごりにするなら、安全ではない。…わたしたちの現在と永遠の幸福に非常に必要とされているこの主題について、自分で聖書の真理を理解している人は、百人に一人もいない。」（セクテッド・メッセージ 1 巻 359）

「多くの人々は神からの光を自分たちへもたらしてもらうために自分たちの牧師を見る。…そのような人々は多くを失う。もし彼らが日ごとにキリストに従うならば、…このお方ははっきりとした知識を得、こうして貴重な経験を得続けることができる。まさにこの経験が欠けているからこそ、真理を公言する兄弟たちが他人のともした火花の中を歩むのである。彼らは神の御霊を知らず、神のみ旨の知識がない。そのためたやすく自分の信仰から動かされてしまう。彼らは不安定である。なぜなら、他の人が自分のために経験を得てくれるよう信頼しているからである。」（教会への証 644 巻）

個人的な復習問題

1. わたしの伴侶、子供、兄弟、同僚に対する態度はどのようなものだろうか。
2. どのように自分の舌を制するかについてわたしたちを強める主要な過程をいくつかあげなさい。
3. わたしはもし誘惑に打ち負かされたら、どうすべきですか。
4. 純潔な良心から生じた良い行いと言葉と、良い評判を得ようと試みる利己的な動機は、どのように違うか説明しなさい。
5. わたしはどのようにしたら、自分の公言する信仰についてより深い理解を得ることができるでしょうか。

第一安息日献金 太平洋地域の海外伝道プロジェクトのために

多くの魂がまだ救いの良い知らせを聞いていないため、この世界に福音のメッセージを広める働きは莫大な仕事です。主は次のように宣言されています。(マタイ 24:14) 神は、この世界の 78 億人ひとりひとりを愛しておられ、すべての人が神に立ち帰る機会を持つことを望んでおられます。

太平洋地域には道教、仏教、イスラム教、キリスト教など多くの宗教があります。しかし、大多数は自らを無宗教または無神論者であるとしています。ここには本当に大いなる仕事があります。

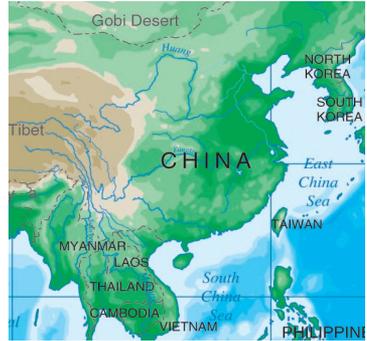
「全世界は福音のために開かれつつある。

エチオピアは神に手をさしのべている。日本、中国、印度から、アメリカ大陸のまだ暗黒な土地から、世界の各地から、罪に悩み愛の神の知識をもとめる人々の叫びがよせられている。神について、キリストのうちにあらわされた神の愛について、まだきいたことのない人々が幾百幾千万といる。彼らはこの知識を与えられる権利を持っている。彼らはわれわれと同様に救い主の愛をうける資格がある。彼らの叫びに答えるのは、この知識を授けられているわれわれの責任であり、またわれわれからこの知識をわけあたえられる子供たちの責任である。」(教育 310, 311)

メッセージの宣布は、他の伝道地と同じ自由が一部の伝道地にはないかもしれませんが、真理は人間の心に届く道を見つけており、あなたが予期しない場所で多くの改革のメッセージを信じている人がいます。この安息日、私たちは皆さんに、特にこの働きのために祈ってください。神が御国のためにさらに多くの魂を備えるためにこの働きが前進できるようにしてくださいますように。

真理を前進させるためには、この大きな働きの伝道地の北部で真理のみ事業を前進させる礼拝堂の場所を備える援助となる資金が大いに必要とされています。惜しみない献金をお願いいたします。

「天から雨が降り、雪が落ちてまた帰らず、地を潤して物を生えさせ、芽を出させて、種まく者に種を与え、食べる者にかてと与える。このように、わが口から出る言葉も、むなくわたしに帰らない。わたしの喜ぶところの事をなし、わたしが命じ送った事を果たす。」(イザヤ 55: 10, 11)



遠くにいる皆さんの兄弟姉妹に代わって

すべての人が必要としているバプテスマ

暗唱聖句：「この水はバプテスマを象徴するものであって、今やあなたがたをも救うのである。それは、イエス・キリストの復活によるのであって、からだの汚れを除くことはではなく、明らかな良心を神に願い求めることである。」（ペテロの第一の手紙 3:21）

「わたしは各都市にいるクリスチャン教会員に、聖霊のバプテスマのために断固たる努力をもって主をしっかりとつかむようと懇願する。」（健康についての勧告 548）

推奨文献： キリストへの道 13-21

日曜日

5月26日

1. 救いの唯一の道

- a. ペテロは救いの唯一可能な道に関して書きものや説教の中で、何を述べましたか（ペテロの第一の手紙 3:18; 使徒行伝 4:10-12）。
- b. 神はなぜご自分の御子を犠牲にすることなく、その憐れみのうちに単純に罪人たちを許し、救うことがおできにならなかったのですか（イザヤ書 26:10 及び ローマ人への手紙 8:7 を次の聖句と参照：ローマ人への手紙 5:10 及び コロサイ人への手紙 1:20-22）。

「人は、罪を犯す前にはキリストとの交わりを楽しむことができた。しかし罪を犯して後は、もはやよいことを楽しめなくなり、神のみ前から隠れようとした。……罪人は神のみ前では楽しむことはできない。かれらは、きよい者らとの交わりを避けようとする。たとえ天国にはいることが許されても、すこしも喜びとはならないであろう。天国では無私の愛の精神がみちみちていて、……そうした精神も、罪人の心にはなんの感動も与えないことであろう。そして、その思想も興味も動機も天国に住む罪なき者らの気持とは全く異なっていることであろう。かれらは天国の美しい音楽と調和しないものとなるのである。天国はあたかも苦しいところのように思われ……ることであろう。悪人は天国には入れないというのはなにも神が独断的にお定めになったのではない。神の栄光は、罪人にとってはやきつくす火である。」（キリストへの道 13-15）

2. このお方の復活を通しての保証

- a. わたしたちはキリストの死を通して救われるにもかからわず、どの意味において、わたしたちはまた「イエス・キリストの復活によ」って救われるのですか（ペテロの第一の手紙 3:21; コリント人への第一の手紙 6:14; 15:22, 23; テサロニケ人への第一の手紙 4:13-16）。
- b. ペテロは実際に御父のご命令を果たし、イエスを復活させたお方について、なんと説明していますか（使徒行伝 2:22-24 をペテロの第一の手紙 3:18 と比較）。

「世の罪のために死なれたお方は、定められた時を墓の中にとどまるのであった。このお方は神の正義の囚人として石の牢獄の中におられた。…このお方は世の罪を負っておられた。そしてこのお方のみ父だけがこのお方を開放することがおできになった。」（ユース・インストラクター 1901年5月2日）

「キリストを死人の中からよみがえらせることによって、御父はローマの兵卒たち…悪魔の万軍の前で、また天の宇宙の前で、ご自分の御子に栄光を帰された。」（彼を掲げよ 102）

「それから力強い天使が、地を震わせる声をもって語るのが聞かれた。イエスよ、神の御子よ、御父があなたを呼んでおられます！そのとき、死と黄泉に打ち勝つ力を受けておられたお方が出てこられた。」（現代の真理 1886年2月18日）

「神は力をまとおられる。このお方はとがと罪のうちに死んでいる者たちをとりあげ、死人の中からイエスをよみがえらせた御霊の働きによって、人間の品性を変え、魂に失われた神のかたちを戻すことがおできになる。」（ユース・インストラクター 1895年2月7日）

- c. どなたがキリストの再臨の時にすべての聖徒たちを不死へとよみがえらせますか。また唯一の条件のもとにそれが可能ですか（ローマ人への手紙 8:9-11）。

「死すべき体は、あなたのうちに宿っておられるそのお方の御霊によってよみがえらせられる。…

死すべき体に宿るキリストの御霊の生き返らせる力がすべての信じる魂をイエス・キリストに結びつける。…

命の与え主はご自分が買われた所有を第一の復活の時に呼び起こされる。…生きているうちに彼らのうちに宿っていた救い主の力によって、そして彼らが神性にあずかる者となったので、彼らは死人の中から導き出されるのである。」（セレクトド・メッセージ 2巻 271）

「死は、キリストによって眠りとみなされた。沈黙した暗やみの眠りである。このお方はそれについてほんのわずかな時間であるかのように語られる。…そして信じる者にとって、死は小事にすぎない。彼にとって死は眠りにすぎないのである。

キリストを死人の中からよみがえらせた同じ力がこのお方の教会をよみがえらせるのである。」（今日のわたしの生涯 295）

3. 福音の背後にある「力」

- a. イエスは福音を宣布するために、だれを用いて、旧約時代における墮落した人類に訴えましたか（ペテロの第一の手紙 3:18（下句）、19、20）。だれが「獄に捕われている霊」であるかを理解するために、これらの言葉を次の聖句と比較しなさい（箴言 5:22; イザヤ書 42:6, 7; 61:1）。

「神は絶えず人間の心に訴え、ご自分の愛と憐れみを認めるようにと命じておられる。…こうしてこのお方はあらゆる時代において人類に嘆願してこられた。ノアの時代にキリストは人間の代理人を通して人類に語り、罪のくびぎのうちにある人々に説かれた。」（この日を神と共に 278）

「これより前に、みたまは世におられた。あがないの働きの最初から、みたまは人々の心に働きかけておられた。」（各時代の希望下巻 152）

- b. このお方の昇天後、キリストは福音の働きを継続する力を使徒たちに与えるために、どなたをお遣わしになりましたか（ヨハネによる福音書 14:12, 16, 17; 20:21, 22; 使徒行伝 1:2）。

「しかしキリストが世におられる間は、弟子たちはほかの助け手を望まなかった。キリストの存在が取り去られてはじめて彼らはみたまの必要を感じるようになり、そのときみたまがこられるのであった。

聖霊はキリストの代表者であるが、人間の個性を備えておられないので、これに拘束されない。キリストは、人性の制約を受けておられたので、どこへでもみずから行かれるわけにいかなかった。だから、キリストが父のみもとに行かれて、地上におけるご自分の後継者として聖霊をお送りになることは彼らの利益であった。そうすれば、場所やキリストとの個人的接触などによる特典はだれにもないのであった。みたまによって、救い主はだれにでも近づかれるのであった。この意味において、主は、天にのぼられなかったとした場合よりも一層近く彼らのそばにおられるのであった。」（同上 153）

- c. 神のどの約束が、終りの時に使徒時代における以上に大きな方法で、再び成就することになりますか（ヨエル書 2:28-31; ホセア書 6:3）。

「福音の大いなる働きは、その開始を示した神の力のあらわれより劣るもので終わることはない。」（各時代の大争闘下巻 382）

4. すべての人が必要としているバプテスマ

- a. 救いのために必要な完全なバプテスマを説明しなさい (マルコによる福音書 1:7, 8; ヨハネによる福音書 3:3, 5)。

「教会の雰囲気は非常に冷たい。…彼らのはじめの愛の暖かさは凍りついてしまった。そこでもし彼らが聖霊のバプテスマによって完全に浸るのでなければ、彼らの燭台は彼らが悔い改めてはじめてのわざをしないかぎり、その場所から取り除かれることであろう。」(牧師への証 167, 168)

- b. なぜ多くのクリスチャンは水による自分のバプテスマのときにした誓いを守るのが困難なのですか (ヘブル人への手紙 5:11, 12; 6:1, 2)。

「自分のバプテスマの誓いに対して真実であるという確固たる証拠を示さない人が多い。彼らの熱心さは形式、世俗的な野心、誇り、そして自己愛によって凍りついている。」(教会への証 155 巻)

「働きの人たちは、神のための真実な伝道者となるために、どれほど聖霊のバプテスマを必要としていることであろう。」(安息日学校への勧告 178)

「今日自分の魂をキリストに明け渡すことがわたしたちの働きである。それはわたしたちが主のみ前からの活気づけの時—聖霊のバプテスマのためにふさわしいものとなるためである。」(伝道 702)

- c. だれだけが、わたしたちのバプテスマの誓いを本当に「明らかな良心を神に願い求める」ものとし、わたしたちの良心をきよめることがおできになりますか。ペテロの第一の手紙 3:21 を次の聖句と比較しなさい (ヘブル人への手紙 9:14; ローマ人への手紙 8:9, 10)。

「わたしたちが必要としているのは、神の御霊によってよみがえった良心である。なぜなら、多くの人にとって良心は罪と不信にふけることによって麻痺させられてきたからである。わたしたちは何が宗教であるかを知らなければならない。そしてわたしたちが天の神と生きたつながりを持たなければならないことを悟らなければならない。」(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1892年7月25日)

「聖霊以外にだれが、思いの前に道徳的な義の標準を提示し、罪を自覚させ、悔い改める必要のない悔い改めを生じさせる信心深い悲しみを生み出し、そしてすべての罪からただ一人救うことがおできになるお方を信じる信仰を働かせるよう鼓舞するであろうか。」(セレクテッド・メッセージ 3 巻 137, 138)

5. わたしたちの思想を導く

- a. ペテロはわたしたちを救いに導くにあたり、どこをもう一度指し示していますか（ペテロの第一の手紙 3:21（下句）、22；ヘブル人への手紙 8:1）。

「〔主イエス〕は神の右に座し、神としての最上の誉れ、このお方が世のある前から持っておられた栄光を受けておられる。このお方はご自分の賜物を、信仰によってそれらを自分のものだと主張するすべての人に分配しておられる。…

わたしたちには無尽蔵の宝庫、すなわちわたしたちの救いの神のうちに愛の大海がある。」（彼を知るために 338）

「驚くべき力と栄光のうちに、天使たちの雲にかこまれて、このお方は神と人間が結合されて墓から起きてこられた。このお方はサタンが自分の合法的な領域だと主張している世界をご自分のみ手のうちにつかみ、そしてご自分の命を与えるその驚くべき働きによって、全人類を神の恩寵へと回復された。

だれ一人として、何か人間の働きが自分の不法という借金をほんのわずかでも払う方法において助けになることができるというような限られた狭い立場をとることがないようにしなさい。これは致命的な欺瞞である。もしあなたがそれを理解したいならば、自分の大事にしている考えをしつこく論じるのをやめ、へりくだった心をもって贖罪を調べなければならない。これがあまりにもぼんやりとしか理解されていないために、神の子だと主張する幾千幾万もの人が、邪悪な者の子なのである。なぜなら、彼らが自分自身のわざに頼るからである。神はいつも良い行いを要求してこられた。律法がそれを要求している。しかし、人がその良い行いの価値がない罪の中という場所に自らの身を置いたために、イエスの義だけが効力があるのである。キリストだけが最高にまで救うことができになる。なぜなら、このお方はいつも生きていて、わたしたちのためにとりなしておられるからである。人が自分自身の救いのためにできるのは、招きを受け入れることだけである。…カルバリーで満たされなかった罪の一つも人は犯すことができない。こうして十字架は、熱烈に訴え、絶えず罪人に完全な罪の償いを差し出すのである。」（セクレット・メッセージ 1巻 343）

個人的な復習問題

1. わたしはどのようにイエスとそのみ言葉を語り、考えることにより大きな喜びを見出すことができますか。
2. わたしのうちに聖霊の働きがあることの証拠は何ですか。
3. 聖霊が奉仕の中でわたしを用いて下さる範囲を広げるのは何ですか。
4. わたしはどのように聖霊のパプテスマを満ちみちて経験することができますか。
5. 何がしばしばわたしにイエスを見失わせ、それによって信仰を失わせる原因となりますか。

新しい命を生きる

暗唱聖句：「それは、肉における残りの生涯を、もはや人間の欲情によらず、神の御旨によって過ごすためである。」（ペテロの第一の手紙 4:2）

「真に聖化されている人々は、神のみ言葉が自分たちに開かれるや否や、それを敬い従う。そして彼らは教理の一つ一つの天において何が真理であるかを知りたいという強い願いを表明するのである。」（信仰と行い 121）

推奨文献： 彼を知るために 104 ;
国と指導者 302, 303

日曜日

6月2日

1. つねに励ましを与える思想

- a. 使徒ペテロは、わたしたちが積み重なる誘惑や苦難によって攻撃されるときに、強められ、励ましを受けるために、何を考えるように勧告していますか（ペテロの第一の手紙 4:1; ヘブル人への手紙 12:3）。

「しばしば十字架の下へ行き、そこで救い主のへりくだりを熟考することによって、わたしたちの信仰を強め、わたしたちの愛をよみがえらせることができる。」（わたしたちの高い召し 361）

「〔ペテロ第一 4:1 引用〕。次のことを尋ねよう、救い主がわたしの状況におられたら、どうなさるだろうか。…この質問はキリストの模範によって答えられている。このお方はご自分の王位を去り、ご自分の栄光をわきへおき、ご自分の富を犠牲にし、ご自分の神性を人性でおおわれた。それはこのお方が人々のいるところで彼らに会うことができるためであった。このお方の模範は罪人のためにご自分の命を犠牲にされたことを示している。」（教会への証 79 巻）

「キリストは、わたしたちが誘惑されるようにあらゆる点において誘惑された。試練と誘惑の下でうなだれるすべての者、また自分の友に捨てられたと感じる人は、キリストのことを考えなさい。…荒野で一人で、彼らに対してもたらされたどんなものよりも厳しい誘惑に应じられた。絶望のうちにあきらめてしまってはならない。かえって震える信仰の手をのばして、救うための差し出されている手をつかみなさい。自分たちの無力な魂をイエスのもとへ投げ出しなさい。このお方は地を乗り越えられたがゆえに、どのように誘惑されている人々を救出するかをご存知である。」（原稿リ-ス 21 巻 12）

2. 苦難を通して勝利へ

- a. なぜ神は目的をもってわたしたちが苦しみや苦悩を通ることをお許しになるのですか (ペテロの第一の手紙 4:1 (下句); コリント人への第二の手紙 12:7-10)。

「救い主がパウロにご自身をご自分の栄光という明るい光線の中であらわされたとき、…彼は自分が汚してきたお方のご臨在の栄光によって、身体的に盲目にされた。しかし、それは彼が霊的な視力を得るためであり、こうして彼の知覚力を麻痺させ死なせてしまった昏睡から目覚めさせるためであった。」(SDA バイブル・コメント [E・G・初作・コメント], 6 巻 1058)

「わたしを圧倒する一つの大きな恐れは、わたしが義務の召しに従って、民のための幻や啓示をもっていと高きお方に恩寵を受けた者として自らを宣言するために出て行ったなら、わたしは罪深い有頂天に屈するのではないか、そして…自らに神のご不興をもたらし、自分自身の魂を失うのではないかということであった。…

わたしは今、もしわたしが行って、主がわたしに示されたことを語らなければならないのであれば、ふさわしくない有頂天から守られるよう嘆願した。御使は言った、『あなたの祈りは聞かれ、答えられた。もしあなたを恐れさせるこの悪が、あなたを脅かすとき、神のみ手があなたを救うために伸ばされるであろう。苦難によって、このお方はあなたをご自分の許へ引き寄せるであろう。そしてあなたをへりくだりのうちに守るであろう。メッセージを忠実に伝えなさい。最後まで耐え忍びなさい。そうすればあなたは命の木の実を食べ、命の水を飲むであろう。』(クリスチャン経験と教え 67, 68)

- b. 肉の罪深い願望によって誘惑されても、すべてのクリスチャンの目的地は何であるべきですか (ペテロの第一の手紙 4:2, 15; エペソ人への手紙 4:17, 22-24)。

「神はご自分に従う人々に、多くの人が自覚する以上を求めておられる。もしわたしたちが自分たちの天国の希望を偽りの土台のうちに築きたくなければ、聖書を読むとおりに受け入れ、主が仰せになる意味通りに信じなければならない。このお方は実行するための恵みをわたしたちに与えないことを、わたしたちからお求めになることはない。わたしたちはもしこのお方のみ言葉の中でわたしたちの前に置かれた標準に達しないなら、神の日に申し開きのできる言葉はない。」(教会への証 171 巻)

「改心はほとんどの人が感謝しない働きである。地上に属する罪を愛する思いが変化し、キリストの言いつくせない愛を理解するように導かれることは小さいことではない。…〔魂が〕これらのことを愛するとき、彼のかつての生活はうんざりする憎むべきものに見える。彼は罪を憎む…彼は自分のかつての喜びを捨てる。彼は新しい思い、新しい愛情、新しい関心、新しい意志を持つ。」(信仰によってわたしは生きる 139)

3. 勝利するためのいくつかの習慣

- a. ペテロほどの罪深い欲を、一般的で克服するのが難しいものとして述べましたか（ペテロの第一の手紙 4:3）。

「道徳が退廃している現代においてとられる自由はキリストに従う者にとっては何の規準にもならない。当世流になれなれしさを示すことは、永遠のいのちの資格をもつクリスチャンの間では、あつてはならないことである。…もし好色、暴行、姦淫、…が真理を知らず神のみことばの原則によって支配されることを拒む人々の間で流行しているなら、…キリストに従う者であると自称する種類の人たちが、…彼らの純潔と徳行によって、野卑な情熱に支配されている種類の人たちに対し、彼らが著しい対照をなして立つことはいかに重要であろう。」（アドベンチスト・ホーム 369）

ぶどう酒に過ぎること。「だれでも不節制の力に対して安全である唯一の道は、ぶどう酒、ビール、強い飲み物を完全に断つことである。…尊ばれ、その名がいのちの書から消されない者は、勝利する者である。」（チャイルド・ガイズ 401, 402）

お祭り騒ぎ、宴会：「クリスチャンであると称して、その品性や宗教上の体験が、浅薄である人々は誘惑者におとりとして利用される。この階級の人はいつも、楽しみやスポーツの集会に出席する用意をしており、彼らの感化は他の人々をひきつける。聖書にもとづくクリスチャンになろうとして努力してきた青年男女が、そのパーティに参加するように説得され、仲間にひき入れられる。…青年たちは、これらの宴会が実はサタンのごちそうであつて、キリストの義である品性の白い衣をいただくことを妨害するために、準備されたものであることを見ぬくことができない。彼らはクリスチャンとしてどんな行ないをするのが正しいのかということについて、当惑してわからなくなっている。」（アドベンチスト・ホーム 596, 597）

「健康改革を採用してきた多くの人々は、すべて有害なものをやめてきた。しかし、次の勧告に従っているだろうか。…彼らは好きなだけ食べることができるだろうか。彼らは食卓に着き、…自らを食欲に明け渡し、大量に食する。…

そして過食は胃にどんな影響を及ぼしているだろうか。それは衰弱し、消化器が弱まり、他の一連のあらゆる悪と共に病気が、結果としてもたらされるのである。…

彼らは気分を害し、彼らには自分の子供たちが非常に悪く見えるようである。彼らは彼らに落ち着いて話すことも、特別な恵みなしには、家族の中で落ち着いて行動することもできない。彼らのまわりにいるすべての人は、彼らの身に及ぶ病気によって影響を受ける。すべての人が彼らの弱さの結果に苦しまなければならない。…改革者たちでさえ、食物の量において過ちを犯すことはあり得る。」（食事と食物に関する勧告 121, 122）

忌むべき偶像礼拝者：「彼らは異教の習慣に順応しても、また彼らの忌むべき偶像礼拝者の記念碑を保存してもならなかった。材料がどんなに貴重であっても、細工が精巧であっても、異教の礼拝に関わりのあるすべてのものは破壊されなければならない。」（サイン・オブ・ザ・タイムズ 1881年1月13日）

4. どこでもいつもキリストのように

- a. わたしたちがひとたび神のみ旨に従って生きることを選択するとき、ここでの生活において直面するもっともよくある結果は何ですか（ペテロの第一の手紙 4:4, 12）。

「終末が近づくにつれて、…サタンは「城壁を築く」者を嘲りののしるために、人間の手下を用いるであろう。」（国と指導者下巻 260）

「〔神の民〕は涙を流して、神の律法をふみにじる危険について悪人たちに警告を発し、言語に絶した悲しみをもって、主の前にへりくだり罪を悔いる。悪人たちは彼らの悲しみをあざけり、彼らの厳粛な訴えを嘲笑する。しかし、神の民の苦悩と屈辱とは、罪の結果失われた品性の力と高貴さを、彼らが回復しつつある間違いない証拠である。」（同上 195）

- b. すべてのクリスチャンは、あざけられ、蔑まれている時に、何を覚えていなければなりませんか（ペテロの第一の手紙 4:5, 13-16; ペテロの第二の手紙 2:12）。
- c. わたしたちをあざける人々は栄えている時に、あるいは反対に、何か悪いことが彼らに起こるとき、わたしたちの態度はどうあるべきですか。わたしたちに悪を働くすべての人に対してはどうですか（ペテロの第一の手紙 4:17-19; マタイによる福音書 5:44）。
- d. わたしたちを嘲笑し、蔑むこれらの人々に関して、わたしたちは何を心にとめているべきですか。またこの思いの境地にどうすれば到達することができますか（ペテロの第一の手紙 4:6; エペソ人への手紙 2:3-5; テモテへの第二の手紙 2:24-26）。

「あなたがたが…真理に対して偏見を持っている人々に出会うとき、あなたの特別な見解をあまりにも強く主張してはならない。彼らにまず同意できる主題について語りなさい。彼らと共に祈りのうちに頭を垂れなさい。…あなたも彼らも両者が天とより緊密なつながりに導き入れられなければならない。偏見は弱まり、心に到達するのがより容易になるであろう。」（伝道 446）

5. あらゆる状況の中で覚えている

- a. わたしたちはいつも榮えて、健康で幸福でも、あるいは病気で悲しく、損失をこうむっていてもそれらに関わらず、何を覚えているべきですか（ペテロの第一の手紙 4:7）。

「疑いや恐れに支配され、はっきりわからないことをみな解決した上で信仰を持つとうとするならば、私たちはますます迷いの深みに陥るばかりである。しかし、もし私たちがありのままの姿で、自分の力なき頼りなさを感じて神の許にゆき、限らない知恵を持つ神に謙遜に信頼を持って私たちの必要を告げるならば、万物をみそなわし、み旨とみ言葉をもってすべてを支配しておいでになる神は、私たちの叫びに耳を傾け、心に光を照らしてください。真心からの祈りによって、私たちは限りなき神のみ心に触れるのである。その時、あがない主は愛とあわれみに満ちて私たちをながめておいでになるという特別な証拠が与えられなくても、それは事実である。また彼のみ手の接触を実際には感じなくても、愛とあわれみに満ちたやさしいみ手は、私たちの上に置かれているのである。」

忍耐して祈ることは聞かれるもう一つの条件である。信仰と経験に成長しようと望むならば、私たちは常に祈らねばならない。……ペテロは信者に『心を確かにし、身を慎んで、努めて祈りなさい』（ペテロの第一の手紙 4:7）と勧めている。……絶えざる祈りとは魂がつねに神と一致していることであって、神のいのちが私たちのいのちに流れ込み、私たちの生活から純潔と聖潔とが神に帰ることである。」（キリストへの道 131-134）

「使徒の言葉は、あらゆる時代の信者たちを教えるために書かれた。そしてこれは、『万物の終りが近づいている』時に生存している者にとって、特別な意味を持っている。彼の励ましと警告、信仰と勇気の言葉は、『最後までしっかりと』信仰を持ち続けようとする、すべての者に必要である。」（患難から栄光へ下巻 217）

個人的な復習問題

1. 苦しんだり、悲しんだりするとき、わたしは信仰によってどこへ「行く」べきですか。それはなぜですか。
2. 神は何の目的で、苦しみや苦悩を通るよう導かれるのですか。
3. わたしはまだわたしの以前の世俗的な欲の奴隷でしょうか。もしそうであれば、わたしは完全な明け渡しまでどれくらい延期する予定でしょうか。
4. わたしを嘲笑する人々に対して、わたしの態度はどうあるべきですか。
5. わたしが持つべき集中した祈りの生活を持つことを、何が妨げているかもしれませんか。

熱烈な愛

暗唱聖句：「何よりもまず、互いの愛を熱く保ちなさい。愛は多くの罪をおおうものである。」（ペテロの第一の手紙 4:8）

「愛の働きは天来のものであるからふしぎな能力をもっている。」（教育 122）

推奨文献： 教育 121-126

日曜日

6月9日

1. 愛の深さ—大いなる指標

a. 罪はどのようにわたしたちの愛の深さを歪めましたか（創世記 3:12）。

「創造主への愛、感謝、忠誠心などのすべては、エバに対する愛の大きさには比べることができなかった。彼女は、彼自身の一部で、別れるなどとは考えてみることもできなかった。彼は、彼女と運命を共にする決心をした。彼女が死ななければならぬならば、彼もいっしょに死のうと思った。……

〔その後、神の前で〕アダムは、自分の罪を否定し、言いわけをすることもできなかった。」（人類のあけぼの上巻 44-46）

b. わたしが真のクリスチャンであるかを決定するもっとも単純な方法は何か（ヨハネの第一の手紙 2:9; 4:20; ヨハネによる福音書 13:35）。

「昨晚、わたしは小さな群れが共に宗教的な集会を持つために集まっている夢を見た。そこにひとりの人が入ってきて、暗い隅の席に着いた。そこではあまり注意を引かないのであった。そこには自由の霊がなかった。主の御霊がしばられていた。ある人が言葉を述べた。…真理を信じると主張する人々の心にイエスの愛がないことが明らかになった。そしてその当然な結果として、キリストの御霊が不在であった。…ともに集まった集会はだれ一人として活気づけることはなかった。

集会が閉じようとしたとき、見知らぬ人は立ち上がり、そして悲しみと涙に満ちた声で彼らに、彼ら自身の魂に、そして彼ら自身の経験の中に、イエスの愛が大きく欠乏していると告げた。」（この日を神と共に 157）

2. 愛の原則を理解する

- a. この世の愛の概念は、どの原則の上に築かれていますか（ルカによる福音書 6:32-34）。
- b. 真の神聖な愛は、どの原則の上に築かれますか（マタイによる福音書 5:44, 45; ヨハネによる福音書 15:13; ヨハネの第一の手紙 4:7-11）。

「愛は、衝動、感情以上のものである。それは生きた活動し働く原則である。それは感情ではなく、意志によって導かれる。その中には、征服されやわらげられた思いの断固とした決意が含まれている。それは無限のお方の強さをつかみ、わたしは死に至るまでこのお方に仕えると言うのである。」（サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1900年6月20日）

「もし神の国と神の義を求めているすべての人がいつもキリストの働きをなす用意ができていれば、天への道はどれほどもっとたやすくなることであろう！神の祝福が魂の中に流れ込み、主の賛美がたえずあなたの唇にあることであろう。あなたはそのとき、原則から神に仕えるであろう。あなたの感情はいつも喜ばしいものではないかもしれない。時には雲があなたの経験の水平線に影を落とすかもしれない。しかし、クリスチャンの希望は感情という砂の基礎の上には基づいていない。原則から行動する人は、道がどんなに暗く見えても、影の向こうにある神の栄光をながめ、確かな約束の言葉に託す。彼らは道がどんなに暗く見えても、神を尊ぶことをやめない。逆境と試練はただ彼らに自分たちの信仰と愛のまごころを示す機会を与えるだけである。」（ビュー・アノド・ハルト 1910年10月20日）

- c. もしわたしたちがバプテスマを受けていながら、なお許し、明け渡し、愛と寛容を示すのが難しい時があるとすれば、何が欠けているということですか（ローマ人への手紙 8:7-10; ヨハネの第一の手紙 4:8）。

「真の聖化は信徒をキリストに、また互いに、やさしい同情というひもで結びつける。この結合はキリストに似た愛という豊かな潮流を心の中にたえず注ぎ込ませる。それは互いへの愛のうちに再び流れ出るのである。

すべての人が所有すべき重要不可欠な資質とは、キリストのご品性の完全さを特徴づけたもの—愛—である。…

人が兄弟に対するキリストのような愛を持たずに永遠の命に至る信仰を持つことができると思うのは、最大にして最も致命的な欺瞞である。」（SDA バイブル・コメント [E・G・コト・コメント] 5巻 1141）

3. 学ぶべき原則

- a. ペテロはどの聖なる原則を学び、わたしたちの日々の日常生活に働かせるようにと命じていますか (ペテロの第一の手紙 4:8 (上句); 1:22)。
- b. どの意味において、愛は「多くの罪をおおう」のですか (ペテロの第一の手紙 4:8 (下句); 箴言 17:9; ヤコブの手紙 5:19, 20 と比較)。

「もしあなたの兄弟があなたを傷つけたと思うなら、親切と愛のうちに彼のところへ行きなさい。そうすれば、あなたは理解と和解に至ることができるであろう。あなたが誤っている人を扱うとき、聖徒というかたちでキリストを扱っているのだという事実をいつも念頭においておきなさい。過ちのうちにあるとあなたが考える兄弟のところへ行き、彼だけのところで愛をもって語りなさい。もしあなたが問題を解決することに成功するなら、あなたは彼の弱さを暴露することなくあなたの兄弟を得たことになる。そしてあなたとの間の解決は、他の人々に知られないように多くの罪をおおうものとなるのである。他の人々はあなたの困難を知って、それによりあなたが過ちがあると考えている人が何をしても疑いをもって警戒され、動機をあやまって解釈される必要はないであろう。」(ビュー・アンド・ヘルト 1891年2月24日)

「聖書は誤っている者は寛容と配慮をもって取り扱われるべきことがはっきりと教えられている。もし正しい方針に従うならば、一見頑固な心はキリストに勝ち取られるであろう。イエスの愛は多くの罪をおおう。このお方の恵みは決して、他人の過ちを、明らかに必要でないかぎり、さらずように導くことはない。」(両親、教師、生徒への勧告 267)

「使徒は『何よりもまず、互の愛を熱く保ちなさい』(ペテロ第一 4:8)と書いている。兄弟姉妹に逆らう報告に耳を貸してはならない。あなたは隣人に対する非難をどのように取り上げるのか非常に慎重でなければならない。告発をもたらした人に、このことに関して神の御言葉に従っているかどうかたずねなさい。キリストは何をなすべきかについて明白な指示を残しておられる。兄弟のところへ行き、その人とあなたとだけで彼の過ちについて話しなさい。告発されている人とわたし自身のあいだには個人的な不満は何もないと言って、この事柄から身をひいてはならない。キリストによって与えられた規則は非常に明確また正確であり、この言い訳は妥当ではない。

あなたと告発された人とのあいだに苦情の原因があってもなくても、キリストのご命令は同じである。あなたの兄弟は助けを必要としている。他のだれかではなく当人に、その人についての報告がかけめぐっていることを告げなさい。彼に説明する機会を与えなさい。」(天国で 292)

4. 愛という必要不可欠な実

- a. ペテロは心に神の愛が宿っている良いしるしとして、どの品性の特徴を指し示していますか（ペテロの第一の手紙 4:9）。
- b. なぜもてなしは、重要なクリスチャンの徳なのですか（ヘブル人への手紙 13:2; ローマ人への手紙 12:13）。

「クリスチャンだと公言する人々の間にあつてさえ、真のもてなしはほとんど実践されていない。わたしたち自身の民の間で、もてなしを示す機会は、本来あるべきほどに、特権また祝福としてみなされていない。あまりにも社交性が低すぎ、家族の食卓に当惑やひけらかしなく、二人三人のために追加で場所を作る気持ちがあまりにも乏しい。ある人々は、『あまりにも大変だ』と嘆願する。…

神は『わたしとわたしの家族』のためにあまりにもしばしば表される利己的な関心を不快に思っておられる。この精神をいだいているすべての家族はキリストの生涯に具現化された純粋な諸原則によって改心させられる必要がある。自らを自分の内輪の中で閉じこもってしまう人々、訪問者をもてなすためにあてにされることに気乗りがしない人々は、多くの祝福を失う。」（教会への証 6 巻 343, 344）

「わたしは高らかに公言する人々を知っている。彼らの心は自己愛と利己心にすっぽり包み込まれている。…彼らは自分たちの全生涯を通じて、ただ自分のために考え、生きてきた。他の人の善のために犠牲を払うこと、他の人たちの利益のために、自分が不利になることは彼らにとって問題外である。…自己が彼らの偶像である。貴重な週々、月々、年々が永遠に過ぎていく。しかし、彼らには天に、親切な行為、他人の善のために犠牲を払い、飢えた者に食べさせ、裸の者に着せ、あるいは旅人を家に招き入れる記録がない。」（同上 2 巻 26）

- c. どのような影、いつわりの「もてなし」が多くのクリスチャン家族によって実践されていますか（ヨブ記 1:4; 列王紀下 20:13-15）。

「正當に主に属する時間を要求する訪問客のための準備をすることは、キリストを否定することである。…

訪問客を楽しませようと思えば、見せびらかしのために準備することを願うことによって、不要な心配や重荷が生じている。食卓に大変な種類を準備するために、主婦は働きすぎになる。多くの料理が用意されるがゆえに、来客は食べすぎる。そして病気と苦しみ、一方での働きすぎ、もう一方での食べすぎから生じる。これらの人念なごちそうは重荷であり、損害である。」（同上 6 巻 343）

5. 真のクリスチャンの奉仕

- a. 真のクリスチャンの生活において、どのように愛があらわされるか、一つの局面をあげなさい (ペテロの第一の手紙 4:10)。

「神はすべての人に、その能力に応じて働きを割り当ててこられた。緊急事態が起こった時に対応する資質を人が身につけるのは、教育と実践によってである。そして適所適材のためには、賢明な計画が必要とされている。こうしてその人が責任を負うのにふさわしいものとする経験を得るためである。」(教会への証 9 巻 221, 222)

「青年たちは特に、自分の頭脳を訓練し、知的になるためのすべての機会を活用しなければならないと感じるべきである。こうして彼らが自分たちのためにご自分の尊い命を与えて下さったお方に受け入れられる奉仕をお捧げできるためである。… 全ての人には、啓示や科学において可能なかぎりすべてを修得するために、神のみ摂理のうちに恵まれたすべての機会を活用すべきである。…

人に与えられたすべてのタラント働かせるべきである。こうして価値を増すためである。そして向上したものはみな神にお返ししなければならない。もしあなたが物腰、声、教育に欠点があるならば、いつまでもこの状態のままどまっている必要はない。あなたは絶えず、教育にも宗教経験にもより高い標準に到達できるよう奮闘しなければならない。…神はだれにもだらしのない仕事をする言い訳ができる道を備えてはおられない。それでいながら、この種の多大な働きが、このお方のみ事業において働いている人々からこのお方に提供されてきた。しかし、それは神に受け入れられないのである。」(クリスチャン教育の基礎 213-215)

- b. わたしたちのすべての奉仕において、何が唯一の目的であるべきですか (ペテロの第一の手紙 4:11; コロサイ人への手紙 3:23)。

個人的な復習問題

1. 神聖な愛と、世俗の「愛」の間の違いは何ですか。
2. クリスチャンの愛の基礎には、どの原則が敷かれていますか。
3. わたしはどのようにより高尚なもてなしの習慣を培うことができますか。
4. わたしにとってどの種類のクリスチャン奉仕を発達させるのが益となりますか。
5. わたしは自分の働きが、不注意でだらしのないものではなく、神のためだと確かめることができますか。

教会の指導者たちへの訴え

暗唱聖句：「だから、あなたがたは、神の力強い御手の下に、自らを低くしなさい。時が来れば神はあなたがたを高くして下さるであろう。」（ペテロの第一の手紙 5:6）

「代表者として立ってきた人々は、みなクリスチャン紳士というわけではなかった。他人を支配しようとする精神が蔓延している。」（牧師への証 260）

推奨文献： 牧師への証 347-359

日曜日

6月16日

1. 各指導者が必要としている経験

- a. 使徒ペテロはいつ真の牧師となり、他人の魂のために世話をする用意ができましたか（マタイによる福音書 26:75；ヨハネによる福音書 21:15-17；ペテロの第一の手紙 5:1）。

「ペテロは悲しみの人を否定した。…しかし彼は後に悔い改めて改心した。彼には魂の真の悔悟があり、あらためて自分をその救い主に捧げた。…彼はそのとき誘惑されている者を同情する用意ができた。彼はへりくだり、弱く誤っている人々に同情することができた。彼は僭越的な者を戒め、警告し、自分の兄弟を強めるために十分な資格を持つ者とされた。」（教会への証 416 巻）

- b. 同様に、すべての牧師や教会指導者は今日どの経験を持たなければなりませんか（ヨハネによる福音書 3:1-3）。

「ニコデモはこの面会の結果として改心した。キリストのみ言葉はまさに会議の総理たち、諸教会の長老たち、そしてわたしたちの施設の役員らの地位を占めている人々に語られている。『よくよくあなたに言うておく。だれでも新しく生れなければ、神の国を見ることはできない。』」（牧師への証 369）

「神の改心させる力が牧師たちの心にもたらされなければならない。さもなければ、何か他の召しを求めべきである。…

牧師たちが改心した人でないかぎり、諸教会は病気になる、今にも死ぬばかりとなる。」（伝道 643）

2. 権威をもって強く勧める

- a. だれかを奉仕に召す前に教会は何を考慮し、召しを受け入れる前に個人は何を考慮しなければなりませんか (ペテロの第一の手紙 5:2 (上句))。

「神はくり返し、人々は神が確かに彼らを召しておられるという間違いようのない証拠がないかぎり、伝道地へ入るよう奨励されるべきではないことを示してこられた。主はご自分の民に資質のない個人に対する重荷をお委ねになることはない。神が召しておられる人々は深い経験の人、試され、証明され、健全な判断を持つ人、柔和の精神をもってあえて罪を譴責する人、どのように群れを扱うべきかを理解する人でなければならない。」(教会への証 1 巻 209)

「勧告者としての責任を受け入れるすべての人、人間の魂を扱っているすべての人…は決して自分自身の評価において重要性がはるかに少なくならないかぎり、決してより賢明な者になることはない。…この変化は、神の聖なる働きに関わる指導者や統治者としての地位を受け入れる前にすべての人において起こるべきである。」(牧師への証 370, 371)

- b. ペテロは主のぶどう畑で労している人々に、どの危険について警告しましたか (ペテロの第一の手紙 5:2 (下句))。

「多額の給与を得たいという願望は、神から与えられた権利を他人から奪おうという決意と共に、サタンの思いに起源をもつ。…このわなに捕らえられてきた人々には、徹底的に改心し、新しくされなにかぎりほとんどあてにできない。」(牧師への証 393)

信任の地位にいる人々は自分たちの扱っている資金を神の財源だとみなし、それを経済的な方法で用いるべきである。…

主の金銭を使用し、支出する権限は、だれかひとりの人の判断にまかされてはならない。使用された一ドルごとに会計報告が提出されなければならない。神の資金は、適正な時に、適正な場所で用いられるべきである。」(医事伝道 165)

- c. 主のために働くことは高給な職業ではありませんが、教会はどの検討を行うべきですか (テモテへの第一の手紙 5:17, 18)。

「わたしたちの施設のすべての働き人は、公正な報酬を受けるべきである。もし働き人たちが適した給与を受けるなら、彼らはみ事業へ寄付をするという満足を得るであろう。ある人が多額を受け、重要かつ忠実な働きをしている他の人々が非常にわずかしか受けないというのは正しくない。」(出版伝道 239)

3. よりへりくだった態度が必要とされている

- a. 重い責任の地位にいる兄弟間の問題の主たる原因は何ですか（ペテロの第一の手紙 5:3; ヨハネの第三の手紙 9）。

「支配の精神がわたしたちの会議の総理たちに広がっている。もし人が自分自身の権力に自信を持ち、自分の意志を支配力とする権威が備わっていると感じて、自分の兄弟たちに対して支配力を発揮しようとするなら、最上にして唯一の安全な道は、彼を取り除くことである。さもなければ、大変な害悪がなされ、彼は自分自身の魂を失い、他の人々の魂を危険にさらすのである。」（牧師への証 362）

- b. どのような訴え、すなわち、もし従うなら、高い地位にいる兄弟間の誇りと自己尊重の精神を防ぐ訴えが、すべての地元の教会の指導者たちや長老たちに与えられていますか（ペテロの第一の手紙 5:2（上旬）; コリント人への第一の手紙 6:2-5）。

「バトル・クリークで特別な責任の地位にいる人々に一般の人々よりもはるかに優れた知恵があると仮定するのは間違いであることを示された。…

多くの人々は困難な状況に導き入れられると、勧告や助言を求めて手紙を書いたり、尋ねたりするよう教育されてきた。しかし、わたしたちのさまざまな施設で責任のある地位におかれている人々が、人に依存するのは間違いである。…弱い病的な経験が、すっかり他人に依存するように教育されてきた人々の副業となるであろう。…

バトル・クリークの人々は知恵において無限だとみなされるべきであろうか。」（同上 374, 375）

「強さを求めて責任の高い地位にある人々を見上げてはならない。なぜなら、彼らは責任のある地位を神の特別な力の証拠として考える危険にある人そのものだからである。わたしたちの諸教会は、教会員が人材を見上げて頼るように教育されているために弱い。そして、些細な困難を解決するために、有限な人間をある場所から別の場所へ移送するため、幾千ドルが必要もないのに費やされている。」（同上 380）

- c. 何が、経験の少ない働き人に成功のためのより大きな考察力を得させますか。これが欠けていたために失敗が生じた例をあげなさい（ペテロの第一の手紙 5:5（上旬）; 列王紀上 12:6-8, 16; ルカによる福音書 6:39）。

「青年はもし自分の誇りと利己心を捨て、神に献身するならば、強力な感化力を発揮できる。」（教会への証 1 巻 485）

「青年は教えを受ける精神を培いなさい。こうして彼らを助けようとしている人々の努力によって益を受けることができるためである。」（ユース・インストラクター 1893 年 8 月 31 日）

4. ペテロの謙遜の実例

- a. 一時の本物の改心、もしくは主との経験は、牧師のために、あるいはどの信徒にとっても十分ではないということがどのようにわかりますか（コリント人への第二の手紙 13:5; ヘブル人への手紙 3:13）。

「のちになってペテロがアンテオケを訪問した時、彼は異邦人の改宗者たちに対する賢明な振る舞いによって、多くの人々の信頼を得た。しばらくのあいだ、彼は天来の光に従って行動した。彼は異邦人の改宗者と食事の席を共にするほどに、生まれつきの偏見を克服していた。しかし、礼典律に熱心なユダヤ人がエルサレムからやって来たとき、ペテロは異教から改心した人々に対する態度を、無分別に変えた。……指導者として愛し尊敬されている人々の弱点がこのように現れたために、異邦人の信者たちは、心に大きな痛手を受けた。教会に分裂の恐れがあった。」（患難から栄光へ上巻 213）

- b. 牧師、働き人、あるいは教会指導者の一つの過ちあるいは態度が、公の反感や混乱を教会にもたらしたとき、彼らはどのように譴責を受けるべきですか（ガラテヤ人への手紙 2:14; テモテへの第一の手紙 5:20）。

- c. 公に譴責された時、改心した指導者の態度は、どうあるべきですか（ペテロの第一の手紙 5:5（下句）、6; ヤコブの手紙 5:16）。

「しかしペテロがあいまいな態度をとり、教会を破壊するような悪影響を及ぼしているのを知ったパウロは、彼が本心をごまかしていることを公然と非難した。パウロは教会の人々の前で彼に向かい詰問した。……

ペテロは自分のあやまちを認め、自分の力でできるかぎり、それまでの弊害を取り除くことに努めた。はじめからその終わりを知っておられる神は、ペテロが性格上の弱さをさらけだすままにさせておかれた。……

「神の働きに重要な役割を持つ人々が、自ら高潔さを捨てることなく固く原則に立つように、この正しい原則からの離反の歴史は、厳粛な警告を与えている。……人に課せられた責任が重ければ重いだけ、また、彼が命令したり、支配する機会が多ければ多いだけ、彼が神の道に慎重に従って、総会で信者たちが到達した決定に一致して働かないかぎり、彼はそれだけ大きな害を及ぼしてしまうのである。」（同上 213, 214）

5. 弱い働き人への励まし

- a. 福音の働き人の生涯において、しばしば何が失望の原因ですか（ペテロの第一の手紙 5:5（下句））。

「経験において弱く、クリスチャンの恵みにおいて不足し、献身に欠け、たやすく失望する繊細な牧師が多すぎる。…この働きには、困難や試練においてつぶやいたり、文句を言ったりしない人、これはイエスが彼らに残された遺産の一部であることを知っている人が必要とされている。彼らは宿営の外へ喜んで出て行き、キリストの良き兵卒として、非難に甘んじ、重荷を担うべきである。」（教会への証 3 巻 423）

- b. サタンがわたしたちのうちのだれかを教会にある問題を指し示すことによって失望させようとするとき、わたしたちはどの約束にすがらべきですか（ペテロの第一の手紙 5:4, 7）。

「イエスの名によってわたしたちの嘆願を捧げること何ものにも妨げられないようにしましょう。揺るがない信仰をもって神がわたしたちに耳を傾けて下さること、このお方がわたしたちに答えて下さることを信じていよう。自分たちの困難を神にたずさえていき、自らをこのお方の前にへりくだらせよう。なされるべき大いなる働きがある。そして互いに勧告し合うのが特権である一方、わたしたちはあらゆる方法において、神に相談することをしっかり確実にしなければならない。なぜなら、このお方のみ旨は決してわたしたちを誤り導くことがないからである。わたしたちは肉を自分の腕としてはならない。もしそうするなら…不信が忍び込み、わたしたちの信仰は死ぬであろう。」（牧師への証 487）

「真の羊飼いの精神は、自分自身を忘れる精神である。彼は神のみわざに携わるために、自我を見失う。…そして、重荷を負って下さる偉大な主と協力して、彼らの苦しみを共にし、失望を慰め、魂の飢えを和らげ、彼らの心を神へと導く。」（患難から栄光へ下巻 227）

個人的な復習問題

1. わたしが十字架の足下でひぎをかかめて涙を流したのはいつが最後でしたか。
2. 高い地位に就けば、主のためにさらに多くのことができると思うのでしょうか。
3. 教会内でより高い地位を目指すことがなぜわたしの心に入ってはいけないのですか。
4. わたしの過ちを指摘する人々に対するわたしの態度は何ですか。
5. わたしの失望の時の責任はだれにあると思っていますか。

身を慎み、目をさましていなさい

暗唱聖句：「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるしのように、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。」(ペテロの第一の手紙 5:8)

「われわれの大いなる敵サタンは、アダムの時代から今日に至るまで、圧迫と破壊のために力をふるってきた。そして今、彼は、教会に対する最後の戦闘の準備をしている。」(各時代の大争闘下巻 249)

推奨文献： セレクトド・メッセージ 1巻 126, 127;
 各時代の争闘上巻 29-42

日曜日

6月23日

1. **彼が何について話しているかわかっている**
 - a. **ペテロは彼の第一の手紙の結論に、どの深刻な忠告を記しましたか (ペテロの第一の手紙 5:8)。**

「サタンは絶えず働いているが、彼の活動と巧妙さについていくらかでもわかっている者はほとんどいない。神の民はずるがしこい敵に持ちこたえる準備ができていなければならない。サタンの一步は音がせず、彼の動きは内密で、彼の砲台は隠されている。クリスチャンの眠っているエネルギーが目覚め、彼を祈りのうちに神に送ることがないように、彼は自らをあからさまに表そうとはしない。…

人はサタンの捕虜であり、生来彼のほめかしに従い、彼の命じることを行う傾向がある。人は自分自身の中には悪に対して効果的に抵抗するための力はない。…サタンの力が制限されるのは、ただキリストを通してのみである。」(教会への証 5巻 293, 294)
 - b. **ペテロは後に、イエスの裁判のときにカヤパの宮殿の中で自分が勝利者になるのを助ける秘訣として何を学びましたか (マタイによる福音書 26:38, 40, 41)。**

「自信は、見張りと謙遜な悔い改めた祈りを怠るように導く。遠ざけるべき外からの誘惑と克服すべき内なる敵と困惑がある。なぜなら、サタンはその誘惑を、個人のさまざまな品性や気質にあわせるからである。」(同上 3巻 445)

2. 自分の敵がだれかを知る

- a. 獅子の特徴を持つてくるほか、わたしたちの魂の敵がしばしば自分の獲物に近づくと別の方法をあげなさい（コリント人への第二の手紙 11:14）。

「サタンは絶えず、自分の策略に関して無知でありながら、祈りや経験者の勧告や信心深い友人などを特に必要と感じていない人々を破滅させようとしている。クリスチャン生活を送ろうと良い決意をもって_____へやってくる多くの青年が、友情という見せかけのもとに、手を取ってまっすぐにサタンのわなへと導く一群の青年と共に墮落する。敵はいつもほえたける獅子としてやってくるわけではない。彼はしばしば光の天使として、友好的な空気をまとって、経験のない者には耐えるのが難しい特別な誘惑を提示しながら現れる。」

（教会への証 4 卷 207）

- b. 魂のどの道を通して、特にほとんど世界的に携帯電話やインターネットアクセスがある時代において、サタンはもっとも成功を得ていますか（ペテロの第一の手紙 2:11；ヨハネの第一の手紙 2:16）。

「多くの青年たち…は手に入るすべてのものを読む。興奮するラブストーリーや不純な写真には墮落させる感化力がある。小説は多くの人が熱心に通読され、その結果彼らの創造力は汚されている。…裸の状態の女の写真がしばしば〔特にオンラインで〕出回っている。…目の欲と墮落した情欲が、ながめることによって、また読むことによって目覚めさせられる。心は想像を通して墮落する。思いはより低俗で下劣な情欲を目覚めさせる光景を思いめぐらすことに楽しみを見出す。これらの悪徳な画像は、汚れた想像力を通してみると、道徳的な人を墮落させ、惑わされ夢中にさせられた人々をみだらな情欲へと手綱をゆるめるばかりになってしまう。そのとき神のかたちで創造された存在を獣の水準にまで引き下ろす罪や犯罪が続き、ついには彼らを破滅へと沈めるのである。不純な思想をほのめかすものを読んだり見たりするのを避けなさい。道徳力と知力を培いなさい。…」

「わたしは良心に自分の子供たちの読み物〔とインターネット接続〕をコントロールするよう訴える。」（同上 2 卷 410〔 〕の言葉は追記）

「食欲を通して、サタンは思いと全存在を支配する。」（クリスチャン節制と聖書の衛生 37）

「子供たちに与えている模範や教育によって、彼らが大食家や大酒飲みになるように備えているクリスチャンの母親が大勢いる。子供たちはしばしば健康に関係なく、彼らの選ぶものを、彼らの選ぶときに食するままにふけている。」（食事と食物に関する勧告 217）

3. 勝利への唯一の道

- a. サタンに抵抗するために、すべてのクリスチャンは何を持たなければなりませんか (ペテロの第一の手紙 5:9 (上句); ヤコブの手紙 4:7)。

「〔エバは〕、神のみことばを信じなかった。そして、それが、彼女を墮落させたのである。人間は、審判のときに、偽りを本気で信じたからではなくて、真理を信じないで、真理を学ぶ機会をのがしたために罪に定められる。」(人類のあけぼの上巻 42)

「わたしたちが単なる理論、説明のできない浅い信仰を持つとき、突然の誘惑は彼らが世に向かって連れて行く潮流に流される原因となる。」(わたしたちの高い召し 332)

- b. 神のみ言葉を信じると主張していたとしても、多くのクリスチャンをサタンの格好の餌食にしているものは何ですか (箴言 19:2; ホセア書 4:6 (上句); ローマ人への手紙 10:17; 15:4 と比較)。

「試みがしばしば抵抗できないもののように見えるのは、祈りと聖書研究を怠っているために、試みられている者が神のみ約束をすぐに思いだすことができず、聖書という武器をもってサタンに対抗することができないからである。」(各時代の大争闘下巻 367)

- c. サタンの攻撃に包囲されているすべての魂にとって、どの真理が励ましとなるべきですか (ペテロの第一の手紙 5:9, 10; 1:6, 7; コリント人への第二の手紙 4:17)。

「こうしてペテロは、教会にやってきた特別な試練の時に、信者たちに手紙を書き送った。多くの人々は既にキリストの苦難にあずかる者となっていた。そして、まもなく教会は、きびしい迫害の時代を経験するのであった。…まもなく恐ろしいおおかみたちは侵入してきて、容赦なく群れのいのちを奪うのであった。しかし、これらのことはいずれも、希望の中心をキリストに置いている人々を失望させることはできなかった。ペテロは、励ましと勇気づけの言葉で、信者たちの心を現在の試練や未来の苦難の光景から、『朽ち…ない資産』へと向けさせた。彼は熱烈な祈りをささげた。『あなたがたをキリストにある永遠の栄光に招き入れて下さったあふるる恵みの神は、しばらくの苦しみの後、あなたがたをいやし、強め、力づけ、不動のものとして下さるであろう。どうか、力が世々限りなく、神にあるように、アメン』。」(患難から栄光へ下巻 228)

4. バビロンにある教会

- a. ペテロは、歴史におけるどのエピソードに、「バビロン」において散らされ地上の権力に圧迫されたキリスト教会を比較しましたか。(ダニエル書 3:1-6; エステル記 3:8; ペテロの第一の手紙 5:13)。

「偶像礼拝が広く行きわたっていた国にあって、バビロンの栄光とその壮大さと権力をあらわした美麗きまわる貴重な像が、礼拝の対象としてドラの平野で捧げられ…るのである。…そしてその落成式の日には、すべての者が像の前にひれ伏して、バビロンの権力に対する絶対の忠誠を誓わなければならなかった。…」

この重大な日に、悪の勢力は大いなる勝利を取めたように思われた。…

しかし神は、それとは別のことをお命じになった。すべての者が、人間の権力象徴する偶像にひれ伏したのではなかった。…

「〔王〕は火の燃える炉を指さして、もし彼らがあくまでも王の意志に逆らうならば、彼らには刑罰が待っていることを思い起こさせた。しかしヘブルびとたちは、彼らが天の神に忠誠をつくすことと、神には彼らを救う力があると信じていることをあかしした。」(国と指導者下巻 114, 115)

「最後に神の残りの民に対して出される布告は、ユダヤ人に対してアハシュエロス(クセルクセス)発したものと非常によく似ている。今日、真の教会の敵は、安息日の戒めを守る小さな群れを、門に座しているモルデカイのように思っている。神の民が神の律法を敬うことは、主を恐れることを放棄して神の安息日をふみにじっている者に対して、間断なき譴責である。

「サタンは一般の習慣や伝統を受け入れない、少数の者に対して怒りを発する。」(同上 208)

「地と黄泉の力は、信徒たちに立ち向かうことによって、キリストに対抗した。異教は、もし福音が勝利を取めるならば、自分たちの神殿と祭壇は一掃されてしまうと予想し、そのために全力を挙げてキリスト教を撲滅しようとした」(各時代の争闘上巻 31)

- b. なぜ今日ほとんどの場所で迫害がわずかしか、あるいはまったくないのでか(ヨハネによる福音書 15:19)。

「キリスト教が世の中から迎えられるように見えるのは、罪と妥協する精神、神のみ言葉の偉大な真理に対する無関心、教会内における生きた敬神の念の欠乏のゆえにほかならない。初代教会の信仰と力が復興するならば、迫害の精神もまた復興し、迫害の火は再び点じられるのである。」(各時代の争闘上巻 42)

5. 手紙の終わりにある教訓

- a. ペテロがその手紙を書くのに、助けたのはだれですか（ペテロの第一の手紙 5:12）。
- b. シルワノが活動的な伝道者であり、またペテロやパウロと働く同労者だった（おそらく彼らの手紙のいくつかを記すのに、ギリシャ語の文法をもって彼らを助けただろう）ことがどのようにわかりますか（コリント人への第二の手紙 1:19；テサロニケ人への第一の手紙 1:1；テサロニケ人への第二の手紙 1:1）。これはエレン・G・ホワイトの生涯においてどのように似ていますか。

「わたしの夫が生存している間、彼はわたしに与えられたメッセージを送り出すことにおいて助けまた勧告者として役割を果たした。…わたしが幻の中で受けた指示をわたしは忠実に書き出した。…

その後、わたしたちは共に書き物を吟味し、わたしの夫は文法的なミスを正し、不要なくり返しを削除した。こうして、それは宛先人や、また印刷者のために注意深く模写された。…

わたしの夫の死後、忠実な助手たちがわたしに加わり、彼らは倦むことなく証の模写の働きや、印刷のための記事を準備する働きにおいて労した。

しかし、わたしの助手のうちのだれかがつけ加えたり、わたしの書きだしたメッセージを変更したりすることが許されているという報告が出回ったが、それは真実ではない。」（レクティド・メッセージ 1巻 50）

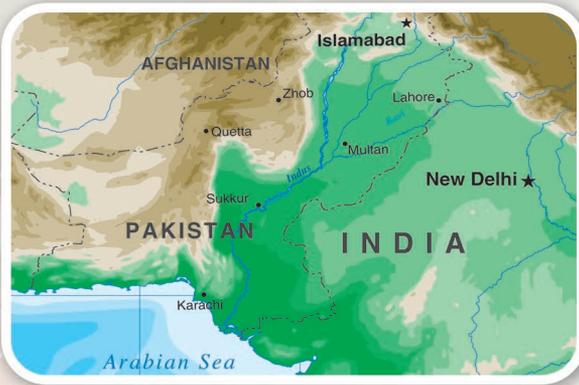
- c. どのクリスチャンの良い習慣が、使徒たちによって確立されましたか。また今日もなお、信徒たちの間で実践されるべきですか（ペテロの第一の手紙 5:14）。

「きよいあいさつは、いつも、その真の性質を考えなければならない。それは、きよい接吻である。それは、クリスチャンの友人たちが別れる時や、数週間または数か月後に再会するときの、交わりのしるしであるとみなさるべきである。…きよい接吻が適当な時と場所で行われるならば、悪く思われることはないのである。」（初代文集 220）

個人的な復習問題

1. どのように自信は、誘惑におちいることに先立ちますか。
2. どのようにわたしの情欲や食欲は、わたしがサタンの策略の餌食となる原因となる可能性がありますか。
3. なぜもっと頻繁で献身した個人的な聖書研究が、わたしを助けることになりますか。
4. 公の良好な関係 対 誤った妥協の間のバランスを説明しなさい。
5. 教会が福音をひろめることにおいて前進するのを、わたしはどのように助けることができますか。

第一安息日献金

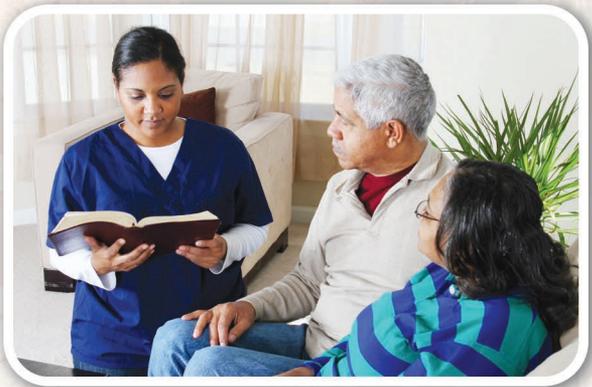


4月6日

パキスタン、ナラン・マンディ教会
のために
(4ページ参照)

5月4日

世界のミッシヨンのために
(25ページ参照)



6月1日

太平洋地域の海外伝道プロジェ
クトのために
(46ページ参照)